

MUJIN COMICS

成年
コミック

【あやかしかたのたまひめ】

妖館の珠姫



Presented by
TYPE.90



【あやかしかたのたまひめ】

女天官の珠姫

AYAKASHIYAKATA NO TAMAHIME

FUN

AYAKASHI
YAKATANO
TAMAHIME

0 0 5
第一話

0 3 3
第二話

0 5 9
第三話

0 8 5
第四話

1 1 3
第五話

1 3 9
第六話

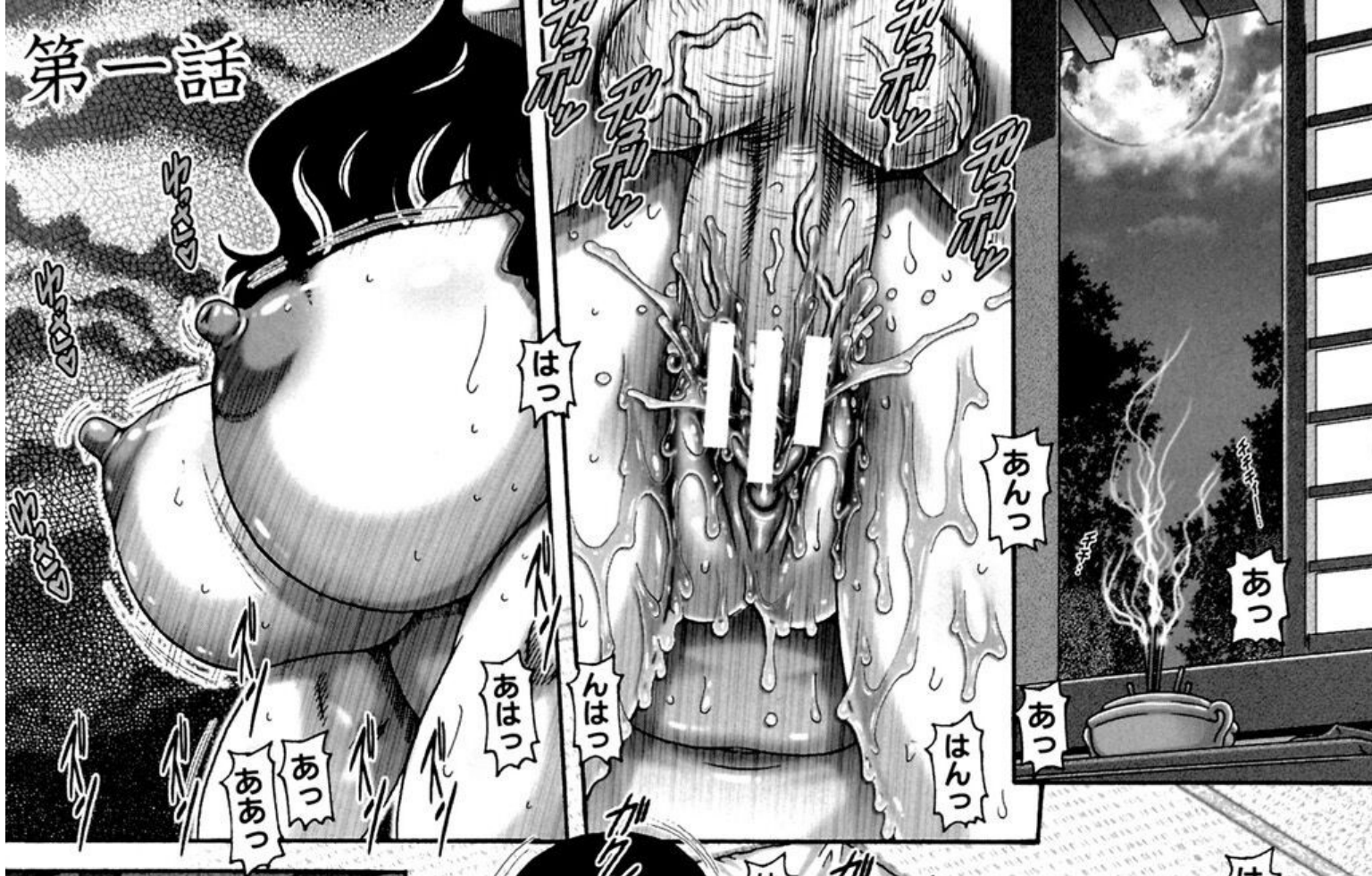
1 6 5
第七話

1 9 1
第八話

2 2 3
あとがき

AYAKASHI YAKATANO TAMAHIME

第一話







そう…

さよう
ですね

いつも通り
後で処理
致します

もう…だめ
なのかしら…

あれは…

そう…
終わりで
いいのね



明日には
また新しい物を
撮取できるかと

代わりとなる
者はすでに
選んでいます

そう…
明日ね…



今度の者も
選抜いた
逸材で
ございます

お気に召す
かと…

そう…

それは…
楽しみ…

…と言えば
いいのかしら…

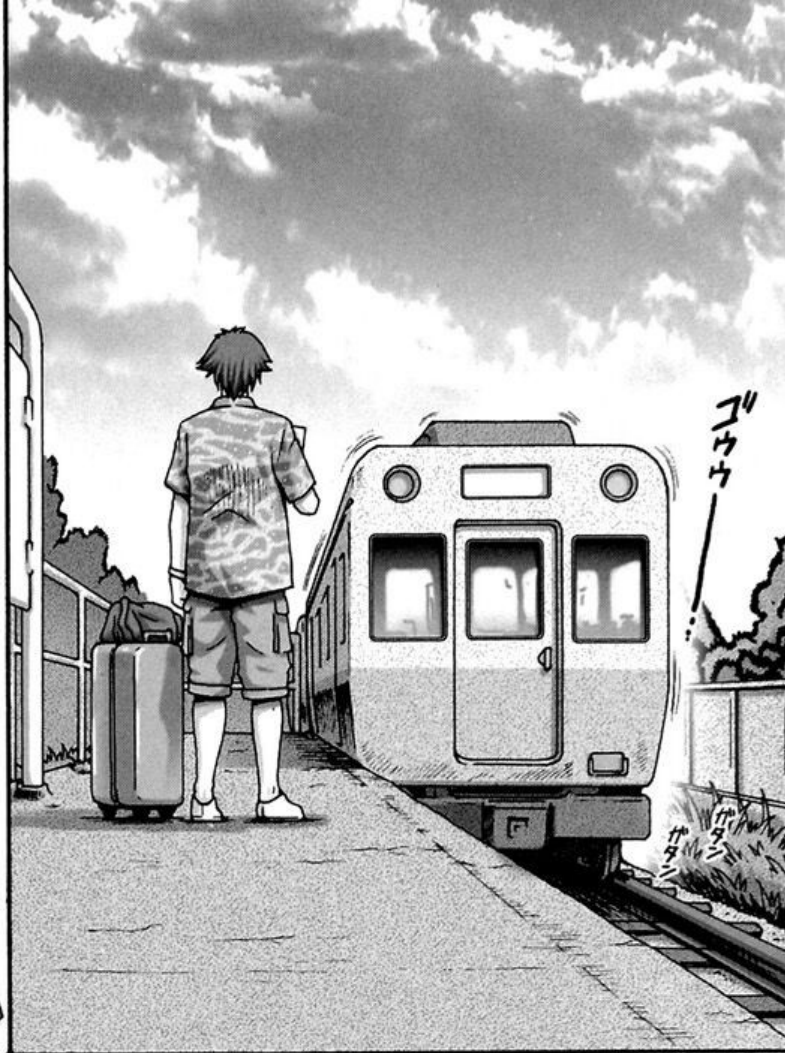
恐れ入
ります

カサ！
・アルバイト情報
・採用年齢…不問
(男小生歓迎)
・時給 1200円
会 イミミ可

はあ…

田舎ってのは
聞いてたけど…

想像以上
だな…



バイト料良くて
三食付いて
住み込みってのに
つられて
来てはみたけど…

こんなド田舎で
あの高給…

いったい…
どんなバイト
なんだよ…

バイトの内容
聞かなかったの…
ヤバかったかな…



それと…

うわあ…

やっぱり…
圏外だよ…

あくあ…

来るんじゃ
なかったかな…

こんな田舎
じゃ楽しみ
なんて…















言われた通り…
頑張るけど…

なあーんか…
他にありそうな
感じだな…

明日から
頑張って
下さい…か

こんなデカイ
屋敷からして
金持ちなのは
分かるけど…

住人が主人以外
皆若い
女性ばかり…
だなんてなあー

んん…



内容も
スゲー楽な
仕事ばかりかも
しれないし

だとしたらっ

女だらけの
スゲーいい
環境じゃん

ビヤハア

それに

案外何の
変哲もない
ただのバイトで



考えても
仕方ないっ

んなあーっ

来てしまった以上
バイト料もらうまで
帰れないしなあー



う…う…

な何か…
あるんじゃ…
ない…かと…

お思っ…は
いいだ…けど…

…う…

う…う…



よしっ
そういう
事なら

オレの存在感
ビシバシ
アピールして

オレの魅力で
彼女らを
濡れさせて
やるせいーっ

ヒー
ハーツ
…ってか



か体が…
う動かな
…い

そそれ
ばかりか…



か金縛り
…とは…

ななんと
古風な…
現象…



はふ

はふ

んふ

んふ

はふ

んふ

んふ

ほむ



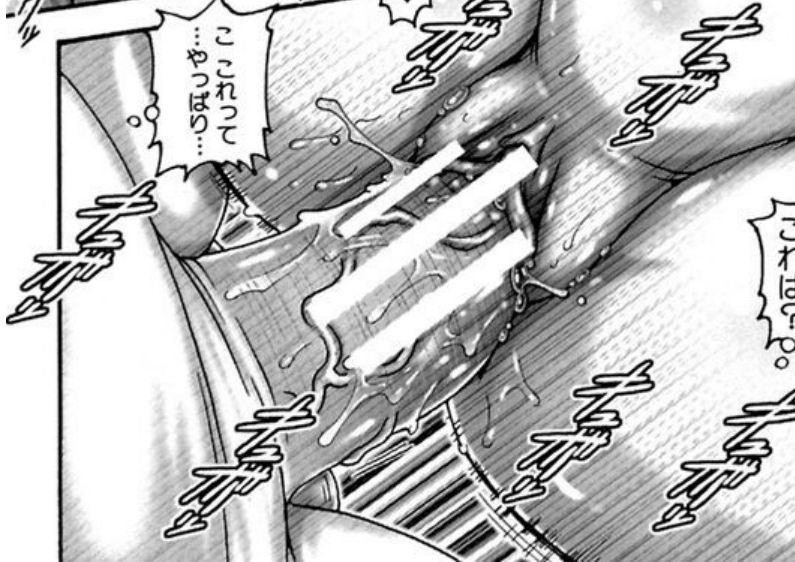
ななんて
彼女らが…

オオレの
チ○ポをお
？

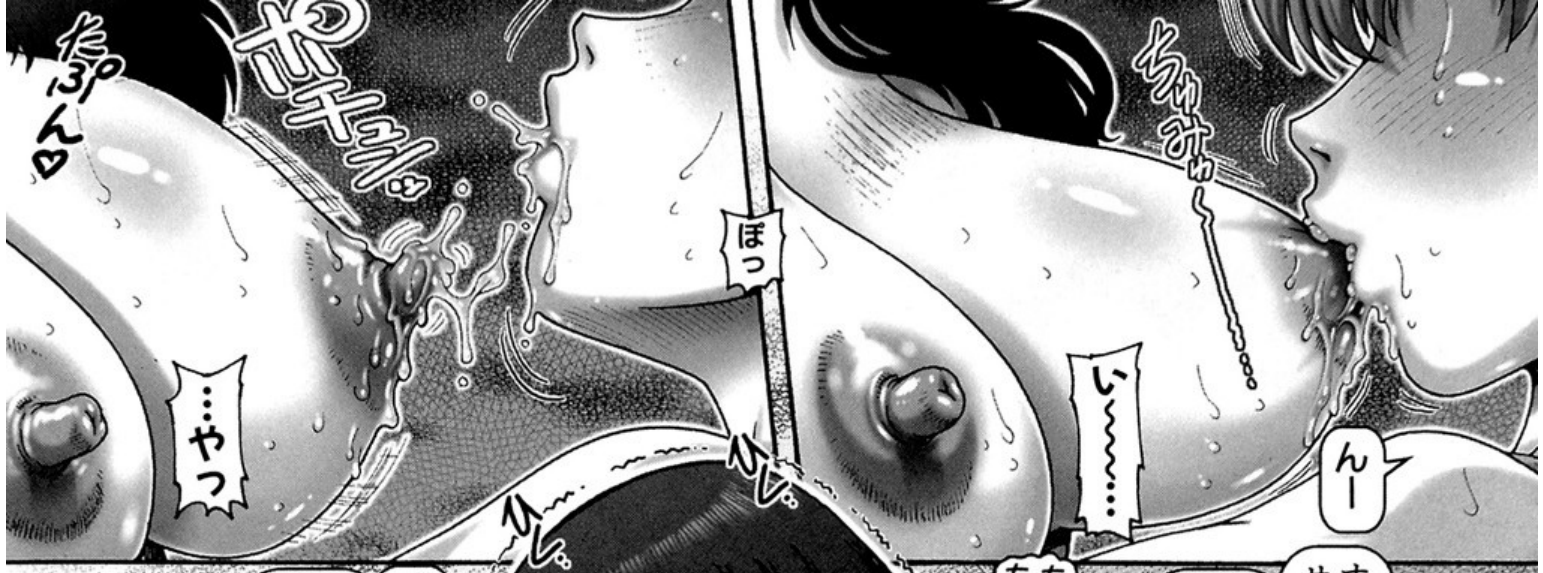
く

チ○ポの
ツボを
三カ所もー











オレのチ○ポ
気に入って
もらえるか…

ちよつち
気になり
ますが

精一杯
頑張ります
ので…

ああ——っ

あっ

気に入って
もらえる様
…

はひやつ

よろしく
お願い
しまあーす♥

あはああ——っ

はっ

んん



あわわあ...

いいんですか...?

こんなの
は？

なら...

やめ...

そそれは
やめ...

いいです
から

いい...
いい...
です...

きひいっ

こんな事
もお♡

よほど...
自己中な男
ばかりで...

こんな事
する奴
いなかっ
たんでし
ょうねー

いいあ

あと...

今まで数多くの
男達と関係を
もって来た人とは
思えないよがり様だ

いいやー
すすごい
よがり様
ですねえ

あ...
あ...





でも…

オレは今までの自己中な男達とは違いますよー

ただち○ポ突っ込んで中出しだけじゃー

男として芸がないっすからねえ

それにオレ自身も楽しみたいしいー♥

ねっ♥
そうでしょ？

やるからには…
お互い楽しみましょうよ

女性の事もちゃんと考えてやる主義ですから



おどろおどろ

でも...

今日は別...

ひん...

また...

あなただけに
全力でいき
ますからね

仕事を
気に入って
もらう為に

オレの
初仕事
として...

き...

んきいーっ

わ私...

あきつ

い...いや
いや...

いひん

そんなん
こと...さされ
ると...

も...も
もう...

う...も
も...も

じわ...



ほお

いいき
ますみ

だ
し
ま
す
か
ら
ね

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

だ
し
ま
す
の
お

し

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ



しんちやう



そうは
いくかつ

なんなら…
もう一回
死んで
みますか？
なんてね

死ぬほど
良かった
っすか？
オレも
そうですよ

うん



その報いっ

キキキ...

よくも
たまひめ
珠姫さまを
死なせたなっ

貴様の命で
償ってもらっ
そっ

フキ
フキ



へ？

ほにゅ...

うん...

しんだあ...

◆END◆



誠に
申し訳
ございません

おれを

たまひめ
珠姫様

選定には
十分気を配った
つもりでしたが

まさか…
あの様な者を
選んでしまう
とは…

私め
不徳の致す
ところです



別に…

それまで
しばしの
お待ちを…

今のまま
でも
いいかな…



ただちに
あの者を
処分して…

新たな者を
ご提供致します
ので…



え？

彼…

もう少し
おいて欲しいん
だけど…

だめかな？
…白菊

第二話



ほんと

では...
もう少し
様子見と
いう事で

あの者の
処分は保留と
致しましょう

姫さまが
ご所望ならば...

いいえ...
ダメでは...



ありがとっ
白菊

ひ
姫さま!?

喜んで
いただけた
ようで...

白菊も
嬉しゅう
ございます♡



ここにきた
時から...

あくあ...

やな気が
したんだよなあ
~~~~~



ですが...

用心の為  
もう少しあの者を  
吟味したいと  
思います...

よろしい  
ですね

うんっ  
よろしい  
わっしい



この屋敷

何で座敷牢  
みたいな物  
あんだよ…

それに…



予感的中…  
…てか？

はは…

何…  
これ？



ぐぐぐ…

ここの住人も  
どう見ても  
普通じゃ  
なさそうだし…

は早いところ  
ずからない  
と…



確かに…

私達は  
人間では  
なく

妖怪です  
が…

うわあっ

びびっく  
したあ…

よ…  
ようかい  
…？

そうです

別に  
驚くほどでは  
ないでしょ

それが  
何か？

！





この世は  
人の知らない事で  
まだ満ちて  
おります…

人の知識が…  
この世の全てでは  
ございませんわ

だからと  
言って…

よ妖怪…  
ってのは…

とても…  
信じらん  
ないっすよ…



そうです  
か？

これでも大昔は  
人と妖怪…  
お互いを敬い…  
上手にお付き合い  
してまいりました

その内…

同胞も減って  
いき…

妖怪本来の  
能力も衰退…

それが…

いつしか数が  
多くなった人に  
住む所を追われ…

今は…こうした  
人里離れた  
山奥で…

今や…  
名ばかりの妖怪に  
成り果てた始末

しかし…  
自負は  
衰えて  
おりませんっ

我らには

珠姫様が  
おわします



なぜなら…

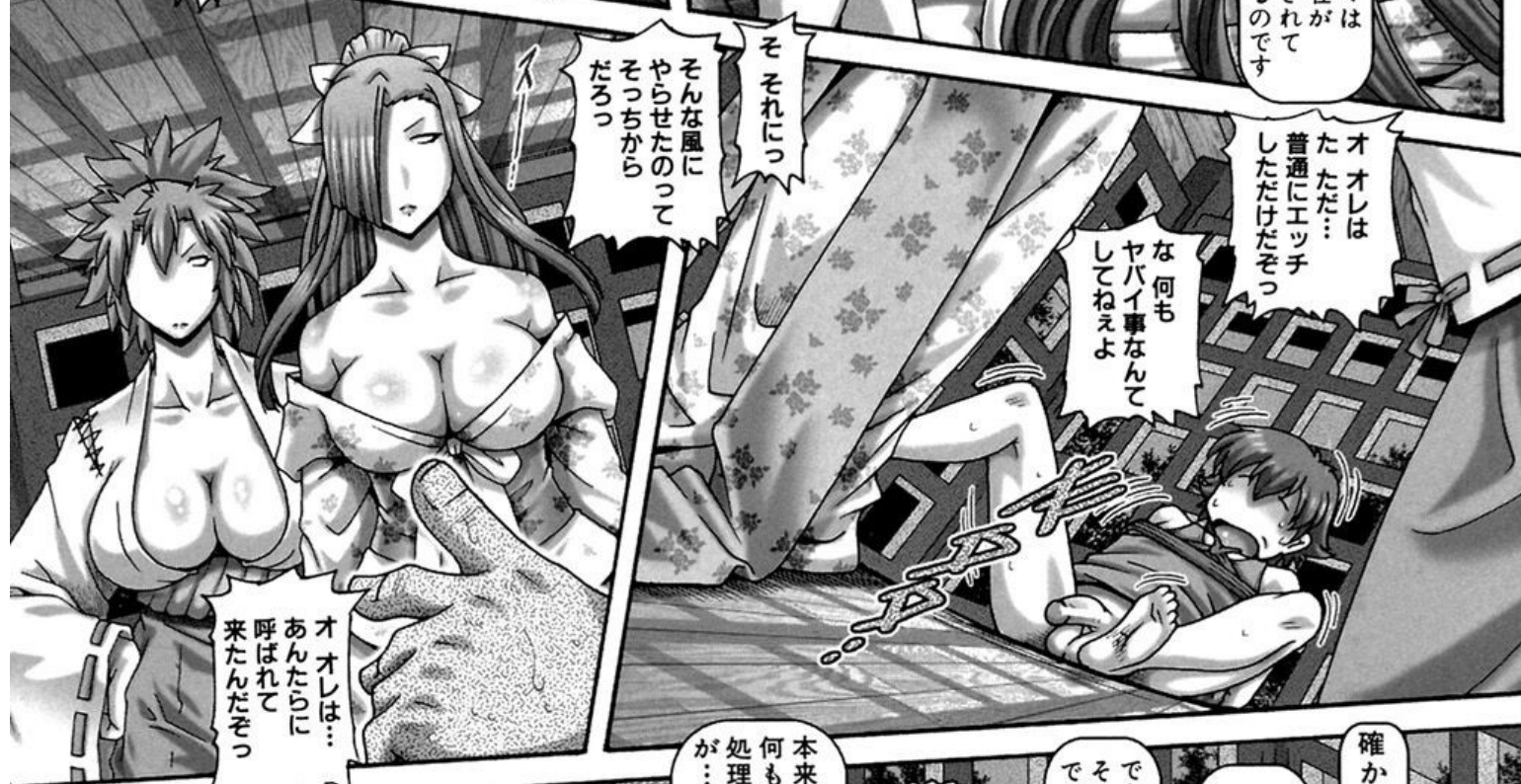


ううわあっ  
ちちよっ

五体満足で  
いて欲しく  
ありません…が

そんな姫様に  
仇なす者に…

姫様のおかげで…  
我々は存在が許されているのです



そんな風に  
やらせたのって  
そっちから  
だろっ

そそれにつ

オオレは  
ただ…  
普通にエッチ  
したただけぞっ

な何も  
ヤバイ事なんて  
してねえよ

オオレは…  
あんたらに  
呼ばれて  
来たんだぞっ



本来なら…  
何もなかった様に  
処理する所です  
が…

姫様の意向で  
あなたには  
もう少し働いて  
もらいました

確かに…  
お願いしたのは  
私もであり…

でも…  
それは間違い  
でした…

そ…  
そうだろ…



もう一度…  
あなたの事を  
知る為に…

つきまして  
は…

まさか…  
あなたの様な方が  
いらっしやる  
とは…





え？

この薑が  
調べますから



あなたの  
子種を…



嫌じゃ  
ないけど…



ですが…

気乗りが  
しない事は  
十分わかり  
ます



な何で  
私が…

おや？  
お嫌です  
か？



あなただけが  
頼りなの♡



これも  
姫さまの  
為っ

誰かが  
やらねば  
ならない  
のです

じじゃー  
白菊さんが  
やっても…

お願い…





















ん……  
確かに……  
普通の  
子種  
のよう  
ですわね  
では……  
いったい何が  
要因で……  
?

ぷふう……

ももう  
いやあ……

また  
ちゅー  
ちゅー?  
ちゅー

き……  
きが……  
き気がへんに  
なつちやう……

あひんっ  
ああく

あ……は  
あはっ

あ……は  
はっ

はんっ

あわ……

ああ……

まさかっ

やはり  
この子種が……

どう  
しました?  
董さん

董さん?

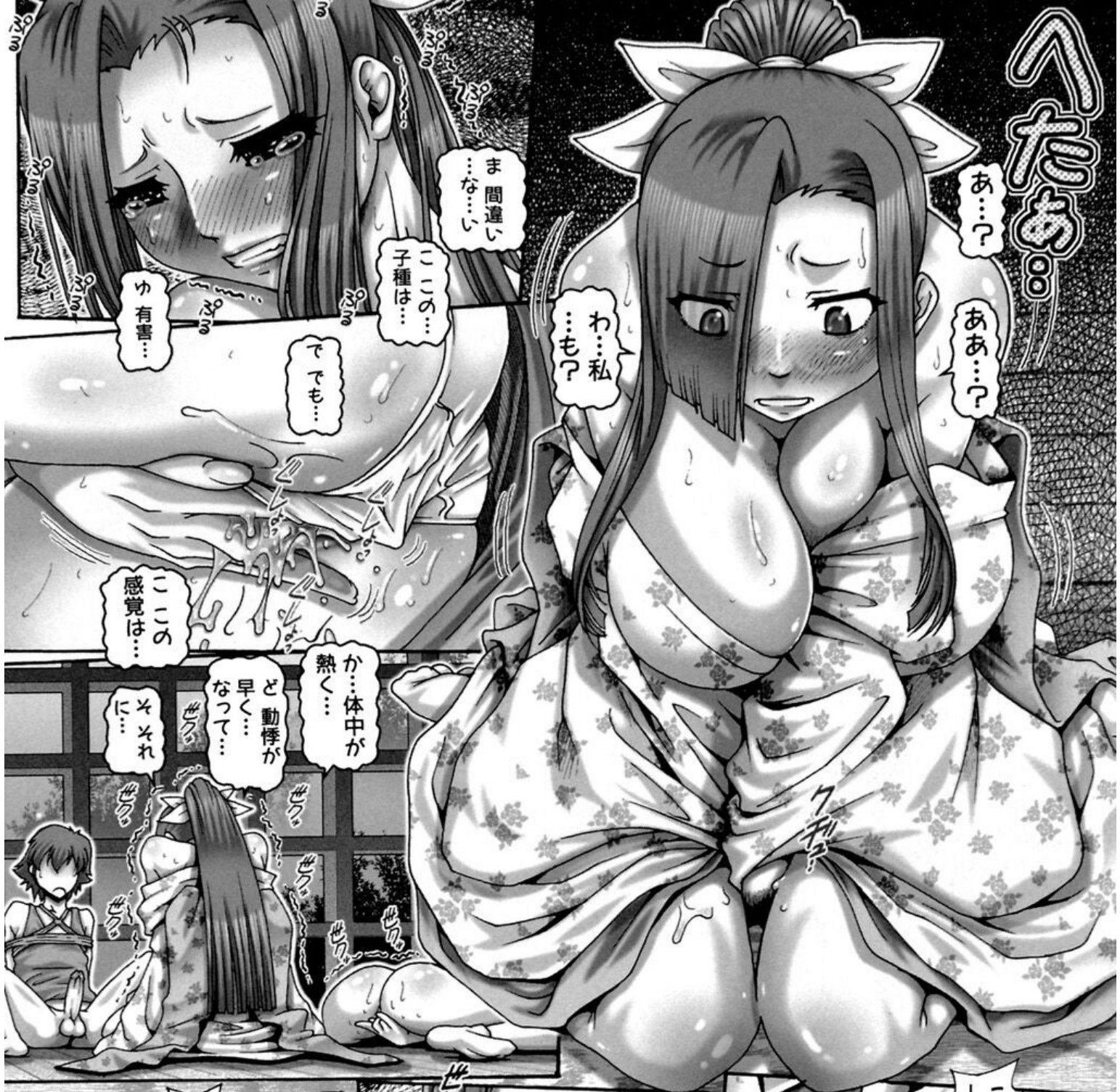
あっ

あっ

んあっ

うぐっ?













はっ

はひっ

あんっ

ああっ

んはっ

はっ

んあっ

ああっ

あっ

そそこっ

そそこっ

そそこっ

おーっ

そこのなめ

おくっ

そそこっ

いっ

いっ

あーいっ

いっ

いっ

いっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ







人間は  
ですねえー

尻の穴も  
チ○ポ用  
として  
使うんですよ

ぐ…ぬ…



あ…あ…

病みつきに  
なる人も  
いるくらい  
だから…

きっと…  
これも



お気に召す  
はずうーっ



実は…  
チ○ポ入れる  
穴は…

一つだけじゃ  
ないんですよ

きひっ

ぐいっ

ぎのおおーっ





ねっ♡

しいっしょ？

おぉぉぉ！

めはあああ〜っ

なんでえー

なあ〜っ

いいっつ  
いいです  
わあーっ

なんので  
いいのあー

なはああっ



な...ひい...

うっ...

も...

ももっとと  
良く...

もっとと...  
良くしてえ...

もつとあ

これしか  
ねえーな  
...と

ほああつ

はいいーっ

えー?  
もっと...  
すか?

じゃー  
あとは...

ひ...きいっ







ザッザッザッザッ!!

だって…  
チ○ポ  
だと

ふ…おお…

こんな事  
出来ないし  
ねえー♥

ひほおっ

あと  
こんな事  
もおー♥

おびっ  
おびっ  
おびっ

おお…

お…お

チ○ポより  
こっちの方が  
案外いい  
かも…

しかし…





いや〜

人間じゃ  
ないと  
分かった

多少のムリも  
しやすくなる  
なあー

人間でやったら  
どん引きされる  
けど...

ああ

あひん

あひ

あひい

あひっ

あっ

姫さまって  
人の為に  
呼ばれたって  
話だけど

姫さまだけ  
でなく...

あんたらの  
相手もやって  
やりますよ

まだまだ  
やってみたい事  
ありますんで

存分に  
おしまいして  
やりますよ

あっ

んあっ

あきつ

あぐつ

あぐう

くなっ

くひっ

はぐつ

はひっ

はひっ

はぐつ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ

はひっ



期待して下さい  
ねえ——っ♡







静かな夜空に  
浮かぶ  
真つ青な満月…

見てるだけで  
お酒が  
進むわぁ♡

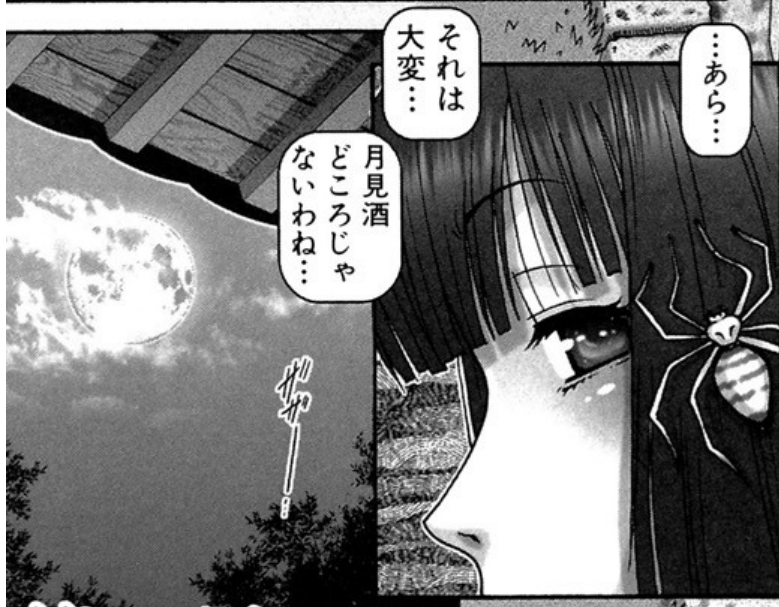
…ん？



なあーに？

せっかくの  
月見酒が  
台無しじゃ  
ない…

どうか  
したの？



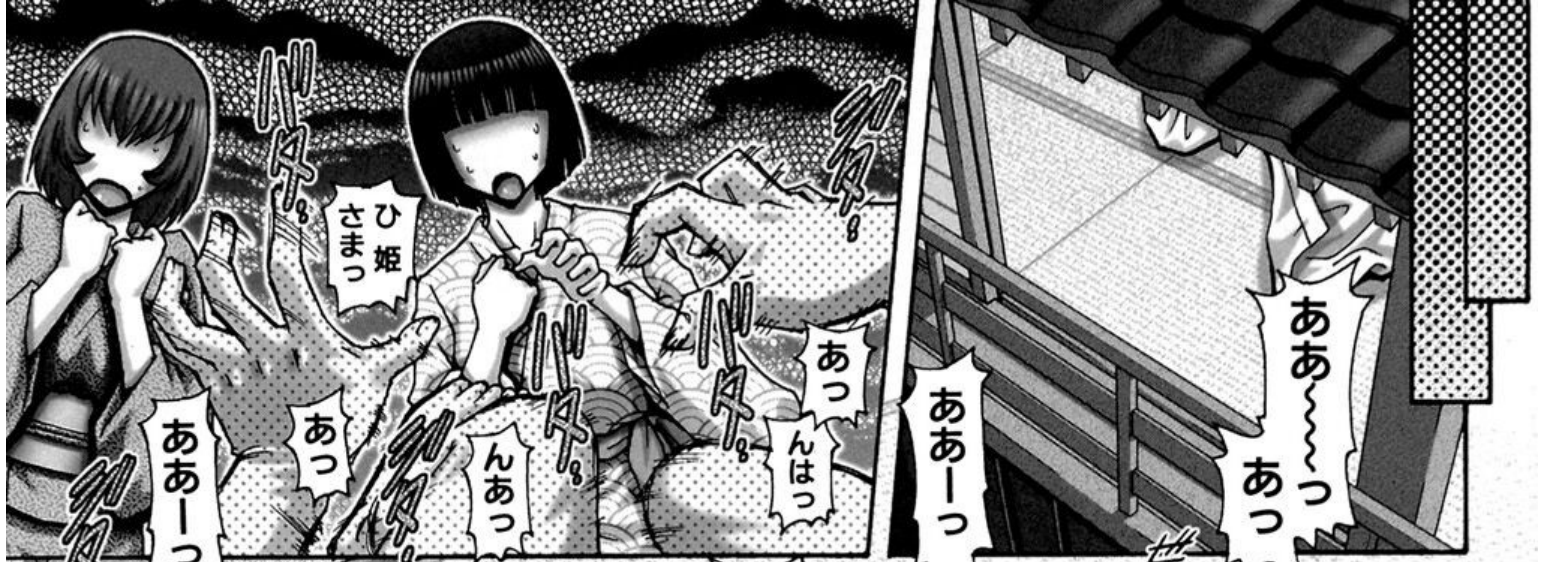
…あら…

それは  
大変…

月見酒  
どころじゃ  
ないわね…

# 第三話











これは…

思ってた以上に  
深刻ね…

あじさい  
紫陽花  
さま？

ちようど  
良か…

…って

な何で  
ここに？

うふふ…



この子が  
知らせて  
くれたの

姫さまが  
大変だって



今までの  
話と…

急に成長した  
妖玉による  
排出不良…

いわゆる

ベンピねっ

この状況  
から  
察するに…





















じ十分…  
綺麗に…  
なつたの  
では…?  
あひっ

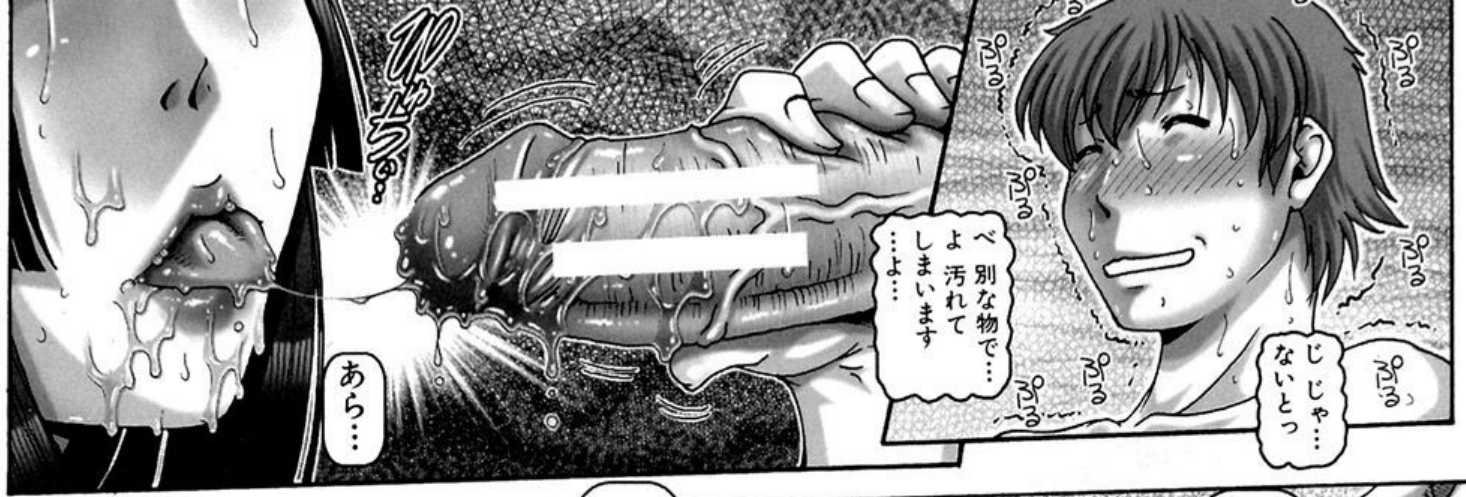
あ…  
あ紫陽花  
さん…  
ももう…  
いいので…は?

あっ  
ああっ  
あっ  
あっ

あふあ…

くはあっ  
はっ  
んひいっ  
んひっ













けはああーっ

あーっ...

かつひっっ

あんっ

あっ

いっやっ

あひっ

いやあっ

いやああっ

いっやっ

あっ

あひっ





あひっ

あひい〜んっ

なんなんでお尻い〜っ

いやあ...

かひっ

め...ここんな  
なん  
かあ...

め...ここんな  
めつ...

そりや  
良かった

き嫌い  
じゃやない  
から...  
こまるう

お尻が...  
めめくわて...

ひっ

かひっ



本当に…  
腹の中に何か  
入ってるんですね

しかし…

しかも…  
結構固い…

チ○ポを  
出し入れする  
度に…

穴の中  
ゴリゴリ  
して…

かひんっ

すげー…  
気持ちいい  
っす

んひっ

ひっ

ひくっ



無事に  
早く出せる  
ように…

あつ

あつ

あがっ

あなが…

それより  
も…

ガンガン  
出しまくり  
ますよー



はっ

はひっ

あひっ

はくっ

はぎっ

んはっ



あなた達は  
もういいわ

後の事は  
私一人で  
十分です  
から…

あなた達は  
白菊さん達を  
お願いします  
わね

ところで…  
紫陽花さん…

かしこまり  
ました…

さつきから  
話に出てくる  
妖玉って  
何ですか？

とっても  
大事な物のように  
聞こえましたけど…







じ冗談  
すか?  
なんだ

…と  
まあー  
冗談は  
さておいて…



し承知…  
しました…  
ぞんざいに  
扱ったり  
したら…  
どうなる  
か…



つはああ!?

早く出して  
もらう為に…

私も  
お手伝いを…

めにゅうう…





ただめ  
よあ

ふ二人…  
とも…

ただめえ

あひつ

あひいゝゝ

こ…

ここん…  
こんなめつて…

あつ

あひつ

気が変に  
なつちやう…

キ  
気が…

へ  
変に…

なつちやう  
のおゝゝ





では...

気がまぎれ  
ますように...

少々...  
手荒  
過ぎたよう  
です...

失礼  
しました...

これは...

敏感なん  
だからあー...

そそこは  
すつく...  
敏感なのお

あ...  
あじさい...  
ためよあ〜つ

おお豆を  
...そんな...

いいや...  
おお豆...

あー...  
あー...  
あー...





ひいはああつ

うんさ〜

はひつ  
ひつ

かひんつ

もう..  
いいやん

あひつ  
ひきつ

あきゅつ

もも  
ももう..  
わわけ..  
分かなない

おお尻と  
オマ○コオ..  
かみつ

良すぎるう

良すぎて  
意味わかん  
なあ〜いつ  
ひんつ







ハハハ  
ない...

し...  
ケケッの  
縮りが

く...  
く...

いくつ

いくつ

も...  
限界...  
だ...

くっく



出します  
からねえ

(ふ...)

だ...  
出します  
よお



で...  
るおっ

ぶもっ

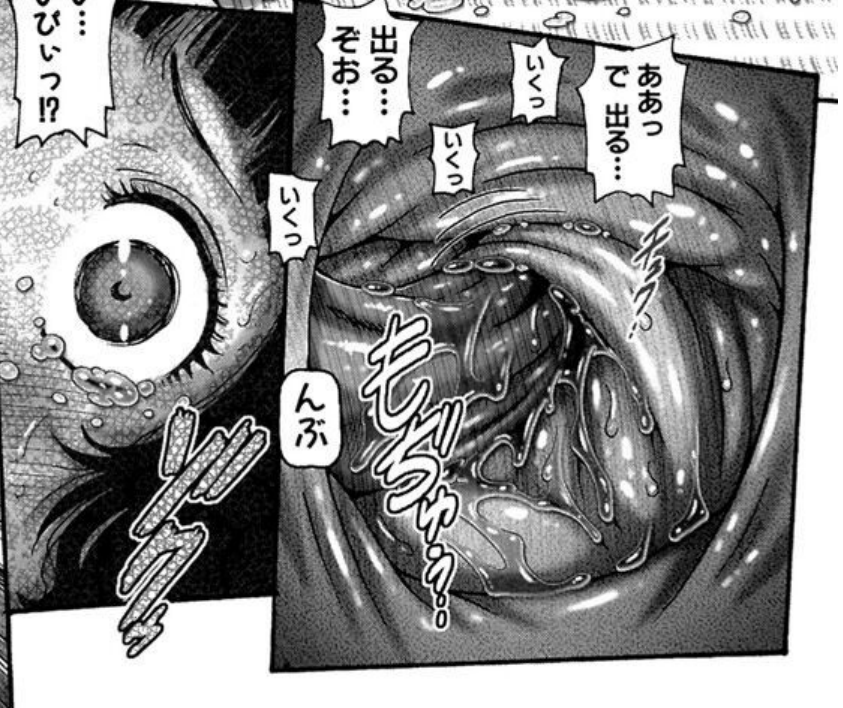


は...  
はきい...

も...  
もう...

も...  
もう...  
だめ...

も...  
もう...  
いく...



あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
あ...

い...  
い...

い...  
い...

んぶ

も...  
も...  
も...



ピンポン玉  
みてーだな

何はとも  
あれ…  
これで  
一安心…

これが  
妖玉…

ふう…





あんなに  
勢いよく

いえ...  
そのおかげで  
たまっていた  
妖玉が  
出せたわけ  
ですから...

ただケツに  
チ○ポ突っ込んだ  
だけですから...

いいえいえ  
オレは何も...

これで  
姫さまも  
大丈夫  
でしょう...

ありがとう  
ございました



いいかが  
なさい  
ました  
珠姫さまっ  
またお加減の  
方が?

おおいっ  
どうしたんだ  
急に

何だ?

ひ姫  
さまっ?



ひ姫さまを  
泣かすとは...

たとえ  
紫陽花さま  
とはいえ...

絶対  
許さんぞ...

ゆる  
さん...

白菊様は  
もう大丈夫  
みたいね

董さま

もうっ  
しっかりして  
下さい

はう...

ほら  
ちゃんと  
立って...

◆END◆



# 第四話











言われなく  
ったって…

きたあくん♡

なひよ♡

ち○ほ  
入ってるう  
ち○ほ  
入ってる  
よー♡

ち○ほ  
ち○ほ

ち○ほ  
いいーっ  
とつても  
いいーっ

そそんなに  
いいっすか…  
なら

あ熱いやつを  
…おみまい…  
うっ

ねじ込んで  
あげますよっ♡

いんほ  
ちんぽ  
ちんぽ

せーのっ

オオオオオオ





大きな

ちゅぽん

みひょう♡

とろ

ぬ...ふい...  
でたあ

おまんこ









まあ♡

…ってはいないよう  
ですわね

お疲れに  
な…

青葉  
さん…

ご苦労さま  
でした

さ…  
姫さま…



ご心配なく

え？

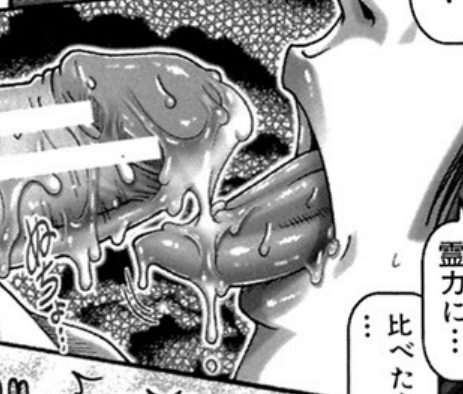
あ…  
いや…  
でも…

私が  
お相手して  
さし上げま  
しょうか？

まだ  
物足りない  
のであれば…

そんな事  
したら…  
白菊さん達  
みたいに…

多少の霊力の  
強さなど…



あの方の  
霊力に…

…比べたら

ふおっと



ききふあい  
れふほあ？

え…  
ままあ…





それは...

忘れようにも...  
忘れられない事

忘れてはいけない事

おらっ

もっと締めろやっ

おおい

そうや...

そのままだと

ま...うっ

ぐはあっ

ぶほおっ

ふはあ...

いいや...  
えがつたなあ

んだ...

カカアより  
出たかも  
しんねえー

んぐっ





う...

何度目かは  
関係ない  
やろ

んぶっ



この穴  
なら...

何度やっても  
やりたり  
ねーって

そじゃ  
なあー



オメエ...  
またやるん  
け?

こんで  
何度目  
だ?

ん...んだば  
次オレなあ

さあて...  
ひと休み  
すんべ...



もったいねえ  
もったいねえ

じゃー  
じゃー



妖怪の女が  
こんだけええ  
穴持ってるって  
思わなかった  
なあー

まるで生娘の  
ようや...

じゃー  
じゃー

そいで...  
長持ちも  
しよる...

じゃから

やろあ





相変わらず  
いい穴  
してんべえーっ

かあーっ

んっ  
んっ  
んっ

よっ...とおおーっ

んくっ

こりゃ  
たまらん  
わー

日々人間の  
オスの性の  
はけ口として

んっ  
んっ  
んっ

オス達の  
慰み物として  
扱われていた

熱く生臭い  
子種や...体液を  
...大量に注がれ

その頃...  
妖力が  
弱っていた私は  
人間に捕らわれ

体中の穴と  
いう穴に...  
肉棒や異物を  
ねじ込まれ

んっ  
んくっ  
んくっ

おお?

オラも  
ませて  
くれや...

なんだあ?  
オメエだけ  
ええ思いして





おおーっ

こころや...

をぐうぐう

き...  
き...

来る日も来る日も  
子種を出され...  
穴の中が乾く間も  
ないほど  
その凌辱の宴は  
続いた...

んくっ

んっ

若い体を  
楽しむ  
なんぞ...

こんな老人  
ばかりの村で

その日まで  
ただ耐え忍べば  
いいのだ...

オス達も...  
その内飽きるの  
ではないか...

終わりを  
迎える日が  
来るんじゃ  
ないか...

人じゃない  
とは言え...

ほんに  
いい穴じゃ

んっ

だが...

んくっ

その日は  
そんなに  
遠い日では  
ないだろう...

そんな...  
わずかな  
望みだけが  
私に許された  
唯一の事だった

だが...

また若さが  
みなぎってくる  
わいっ

んぶっ

おせ

おせ

おせ

おせ









これはっ  
間宮家当主  
間宮敬作様の  
命であるっ



永遠に続く  
と思われた  
蜚行は…  
御宗家  
…さま!!

ま…間宮…



だが…

それは…  
突然訪れた…

なん  
やとっ

そこまでだっ

直ちに  
この蜚行を  
やめよっ

その妖しの  
女は我々が  
預かるっ

皆 早急に  
この場から  
立ち去れっ



それからの事は  
あまり覚えて  
いない…

気が付いた  
時…私は

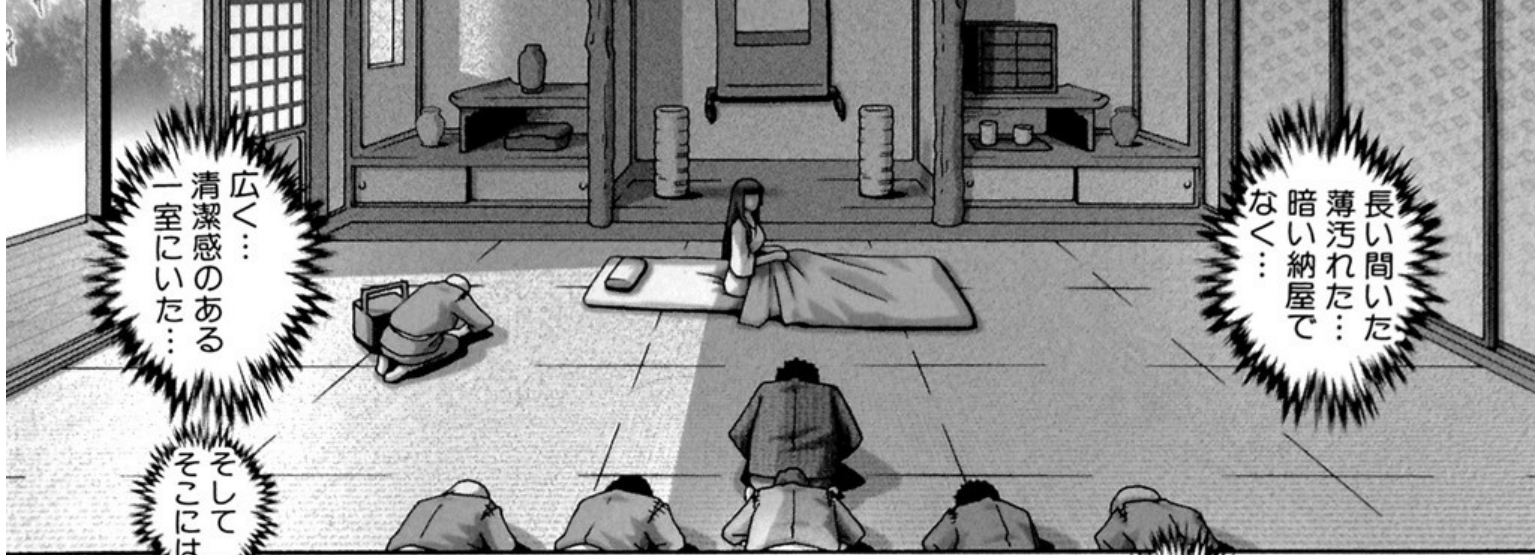


終りを  
つけた…



その一人の  
人間によって…





長い間いた  
薄汚れた  
暗い納屋で  
なく…

広く…  
清潔感のある  
一室にいた…

そして  
そこには



誠に…  
申し訳  
ない…

あの者達には  
後日 相應の罰を  
与えるゆえ…

どうか…  
許して  
もらいたい



それでも  
怒りが  
治まらぬと  
言うので  
あれば…

この身を  
引き裂き  
食らうて  
もらっても  
かまわん…

だから  
どうか…



妖し殿…

貴様なぞ  
食らうても  
腹の虫は  
治まらぬわっ

ふんっ



あの時の  
人間も…

かっ

あの者達が  
そなたにした  
蛮行

同じ人として  
誠に恥じる  
ばかりだ

どんなに詫びても  
詫び足りる事は  
ないであろう…











大丈夫  
ですか？

ただ今  
お助けを…



いかんっ

お茶を…いや

水を早く



はっ



んっ!?

ん…く…っ



つかえが  
取れまし  
たか…

良かった  
良かった

はあ…  
~~~~~



その人間に
触れられた
時…

尋常でないほどの
強い靈力を
感じた…

この人間を食らえば
十分すぎるほどの
妖力を得る事が
出来るであろう…

いや…
それ以上
かも…

その時…
私の中の妖怪と
しての本能が…

さわめき
出してきた

さっ
どうぞ

お水です

ご苦労



貴様には
恩義がある

食らうなら
別の人間で
済ませるわ

じゃが…

貴様の持つ
別な物は…
食ろうてやる

別の物？

ふう…

こんな…
夜遅くに

私に何用
ですか？

やはり…
食らいたく
なりましたか…

よろしい…

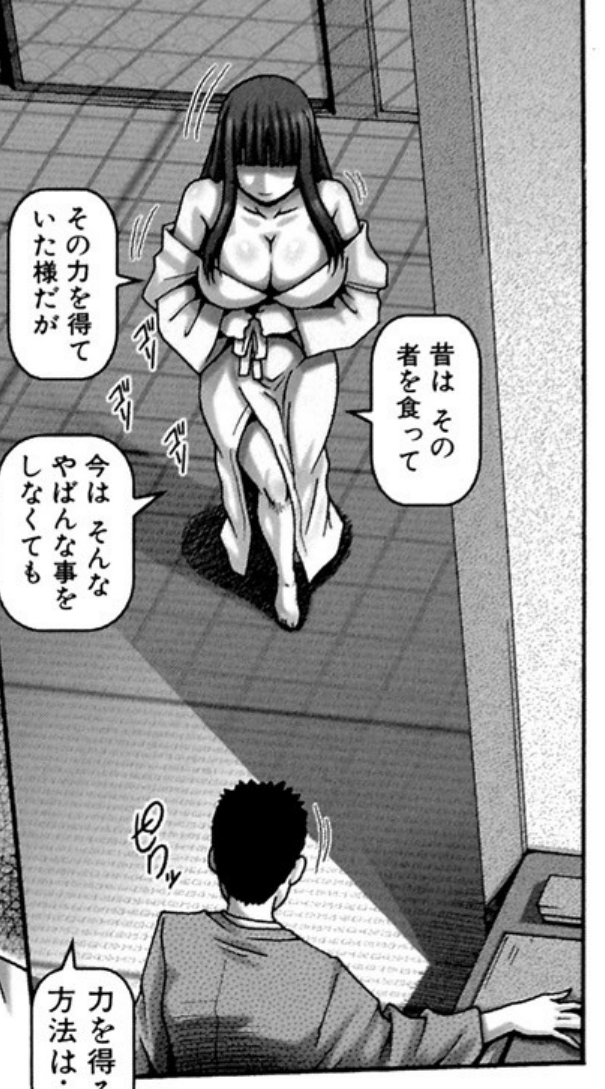
覚悟は
出来ており
ますゆえ…

ふんっ

誰も…
そんな事は
せん



メスとオスの
間ではな…



昔はその
者を食って

その力を得て
いた様だが

今はそんな
やばんな事を
しなくても

力を得る
方法は…



いくらでも
ある…特に



我に
食われ
ろ…

だから
安心して

あのオス達に
された事は…
もう何とも
思っていない

案ずる
な…

あーいや…
でも…

おい…









こ...これは
ち...ちよつと
やばい...
かも...

く...ぽお...

ぽ...



大丈夫
ですか？

今は...
あまりムリ
なさらない
方が...

わ我を
誰だと
思っておる

な何を
言うか...



幾多のオスに
蹂躪されても
耐えた...
このおボボ...

貴様ごとき
多少デカイ
肉棒なぞ...

たたや
すく...

たたや...
すく...



なんなんのよこれえ

これじゃ... 霊力奪う前に...

くぬぬ...

は... 入り... きら... ない

わ私の方が

せ 精根尽き 果てちゃう じゃないのーっ



あやかし殿に 微少な喜びを 与えて差し 上げましょう...



え...?

な何?

例え... 種が違え ども... そなた様は 女

ムリを なさいます な...

あやかし 殿...

きやつ?

この様な時 ご婦人をご 喜びへと 導くのは 男としての 務め...

不肖私... 男の務め として



みよひつ?



いやあーっ

い...

そそこ
だめえーっ



そそこ...
ととつても
び敏感...

敏感
な:

きゅっぶうっ

もい...

それは
好都合...

未熟な
私でも

あなた様を
いかせる事が
出来ますな

ああ〜っ

あつ

あつ

あつ

あはっ

あはっ



実は私…
女性のイク姿
まだ見た事
ないですよ…

命ある内に
…一度

ひゅっ
ひゅっ
ちやあー

ややんっ

だだめえ
っ

き
気があー

ととん
じゃう…

いやああつ

見ておきたい
物ですなあー



ですから

かひいっ
ひゅっ
ひゅっ
ひゅっ

あなた様の
いく姿…

この私に
お見せいた
だければ…

だだめ…

ももう
だめえ

この上なく
光栄です

いっく…
いっく…





あの後…
朝までイキ
まくったのよね…

ああくん♡

懐かしい
わー♡



あら!?

これが私が
強い霊力に
慣れてる
ゆえん…

…って

ふあく…



その後も
何回か霊力を
分けてもらった
おかげで…
妖力は回復
できたんだけど

あいつ…
やっぱりムリしてた
らしく…数日後に
死んじゃったのよねえ！

なんか悪い事
したなーって…
今でも気に
なってるのよ…

…と
まあ…



いいの
よ…

聞いちゃいけない
事を聞いちゃった
みたいで…

スミマセン

私ったら
昔話に
夢中にな
って…

ごめんな
さいっ

いいえ…



今は昔を
懐かしんでも
いられないわ

あおばあくつ

少し
思い出して…
昔の余韻に
ひたってたけど…



第五話



はああ〜…

はっ

はっ

はっ

あはあ〜

はあ

はあ

はあ

あはあ〜

あはあ〜

はきやああ…

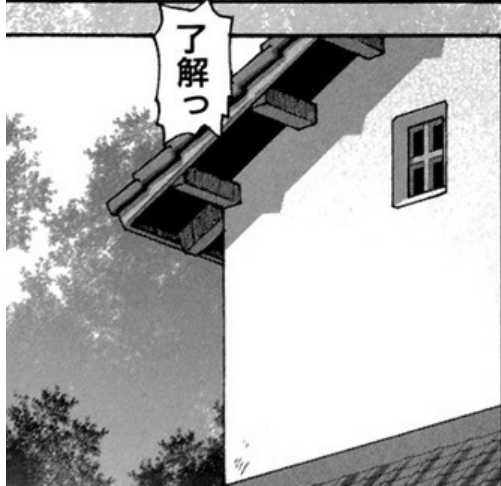
あはあ…

あはあ

あつ

あはあ

はあ











ぎ逆に…
もっと…

もっと…
妖力を…体が
欲している
感じ…

まだまだ…
十分な妖力を
得たとは…

感じられ
ないわ…

ぎゅ

特に…
ここが…



は…はあ
はあ…

あ…
あは…

これが…
妖玉の力…!?

妖力が…体から
力が湧いてくる
感じはするけど…

ぽん

お



もっと…
妖力が欲しいと
ウズウズして
くる…

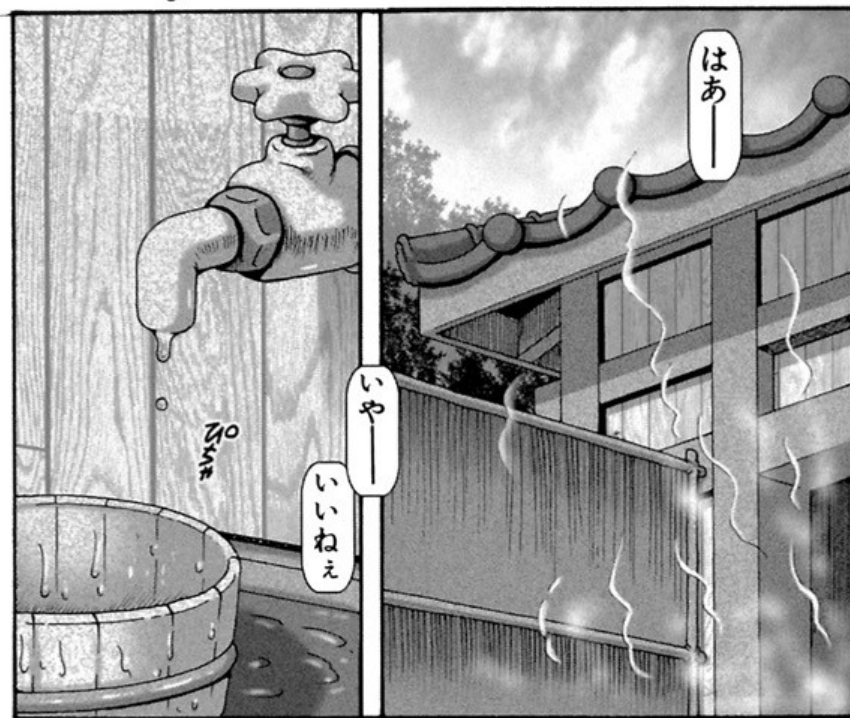
あ…あんだ…

…たち!?

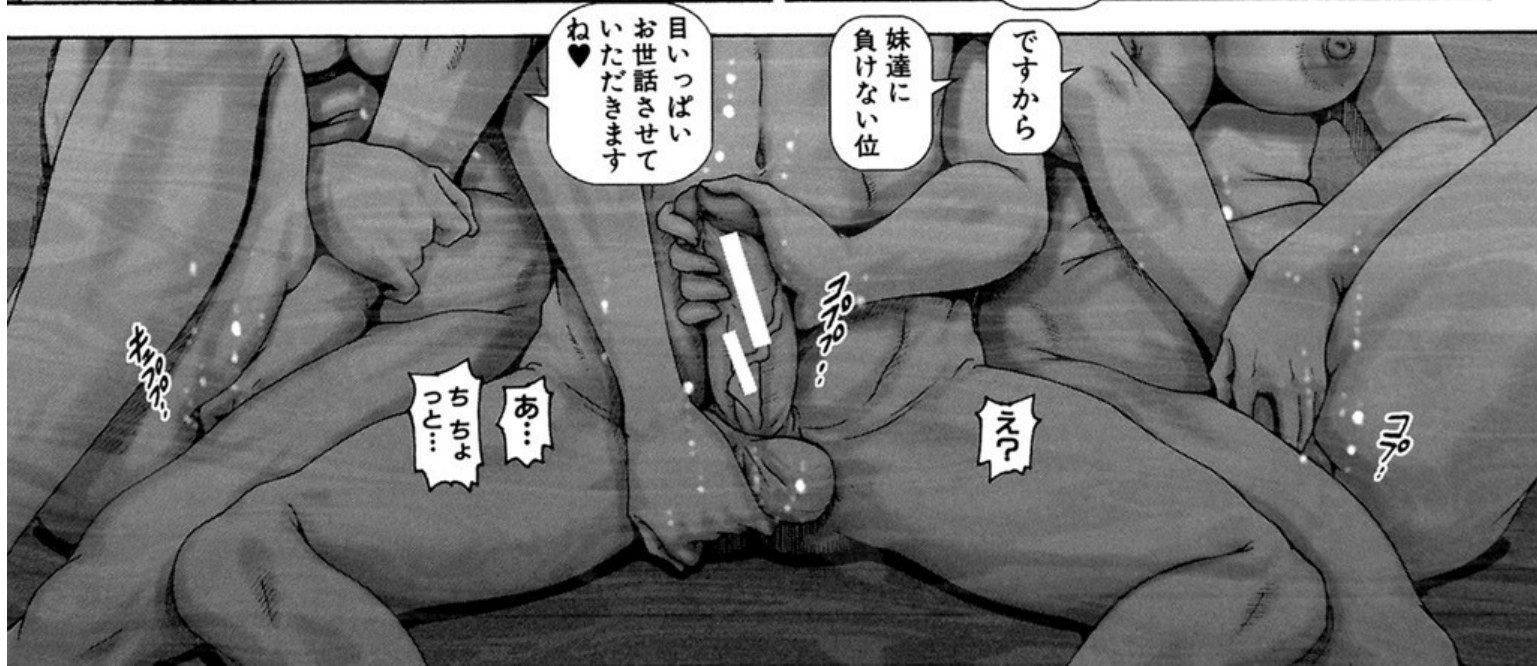
ぢ

ううちも

こんなんじや
物足りない
わあ〜















お奥の
肉壁まで
へろへろ♡

あ♡
あひつ♡

♡こお
♡こつ
♡こつ

やあ〜ん♡

こんなのも
いいかも
♡

こをっ

もっ

ぐもむっ

むをを...

ほっ

ほふっ
ほほっ

をふっ









これが...

これが人の
おち○ちん...

はっ

妖怪仲間も
いいけどあ

この
おち○ちんも
いいーっ

もう
サイコーっ

おち○ちん
サイコー
ですーっ

ものすく
いいー
ですうっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ







ウチが
先やっ

邪魔せん
といてえ

いや
ですっ

順番なん
ですから…

私が
先ですっ

は初めて…
青葉のチ○ホ
見た時から

この時を
待ってたんや…
だから

ウチに譲って
くれてもええや
ないのおっつ

そそれは…
私も同じ
ですっ

このおチ○チン
を
どれだけ舐めたり
したいのを…

我慢して
きた事かつ



わたく
し…が…

私がい
いいえ
私が…

私が

そ…
れでも
ウチが…

さ先や
ウチが…

ウチが…



ナキにい〜♥

アアアア

ナキやあ
ーっ♥



私も〜♥

どうでも
ええわあ
〜♥

はあ〜♥

ほろ〜♥

カラ



あ…
あは…

ウウチが
先に…

いつてもう
たわ…

私がい
いいえ
先よ…

いいや…
ウチや…
でも

チチ

チチ



そのわけとやらを…

ほおーっ

聞かせてもらおうかしらあーっ

ウギヤーっ

オオレもおーっ



あーっ

あなた達…
その姿…

青葉
またあ？

やってくれたわね…

様…
白菊

え…えーと…

ここにはわけが…

あつたり…
無かつたり…

この
屋敷も…

随分と
にぎやかに
なってきた
ものだ…

なあ…

はい…

妖玉

確かに
受け取った

しかと…
首領様に
届けよう…

我らの
悲願成就も
あと少しだ…

その時まで
しかと務めを
果たせよ

よいな

はい…

お任せを…

◆END◆

第六話



海？

これが…



え？

そうなん
すか？

姫様…

海は初めて
なんです



わあ…

すっごく
生ぐさー
い…

普通は
広いつて
言うんだけど

第一声が
それ？



そういう
私達も
初めて
なんです

今まで人里
離れた山奥
ばかりでした
から

とても
新鮮
ですわ



姫様も
あんなに
喜んで…

来たかいた
ありました



ああー

撫子さん
だけは
初めてでは
ありません
でしたね

今回
海に来たのも
彼女の提案
だったの
ですが



ですので
何も気兼ねなく
お過ごしいただける
と思います

人間が
近づけない様に
結界が施されて
おります

この海岸一帯は
私の一族の所有
している物で
ございまして…

ほほー
それは
嬉しいですね



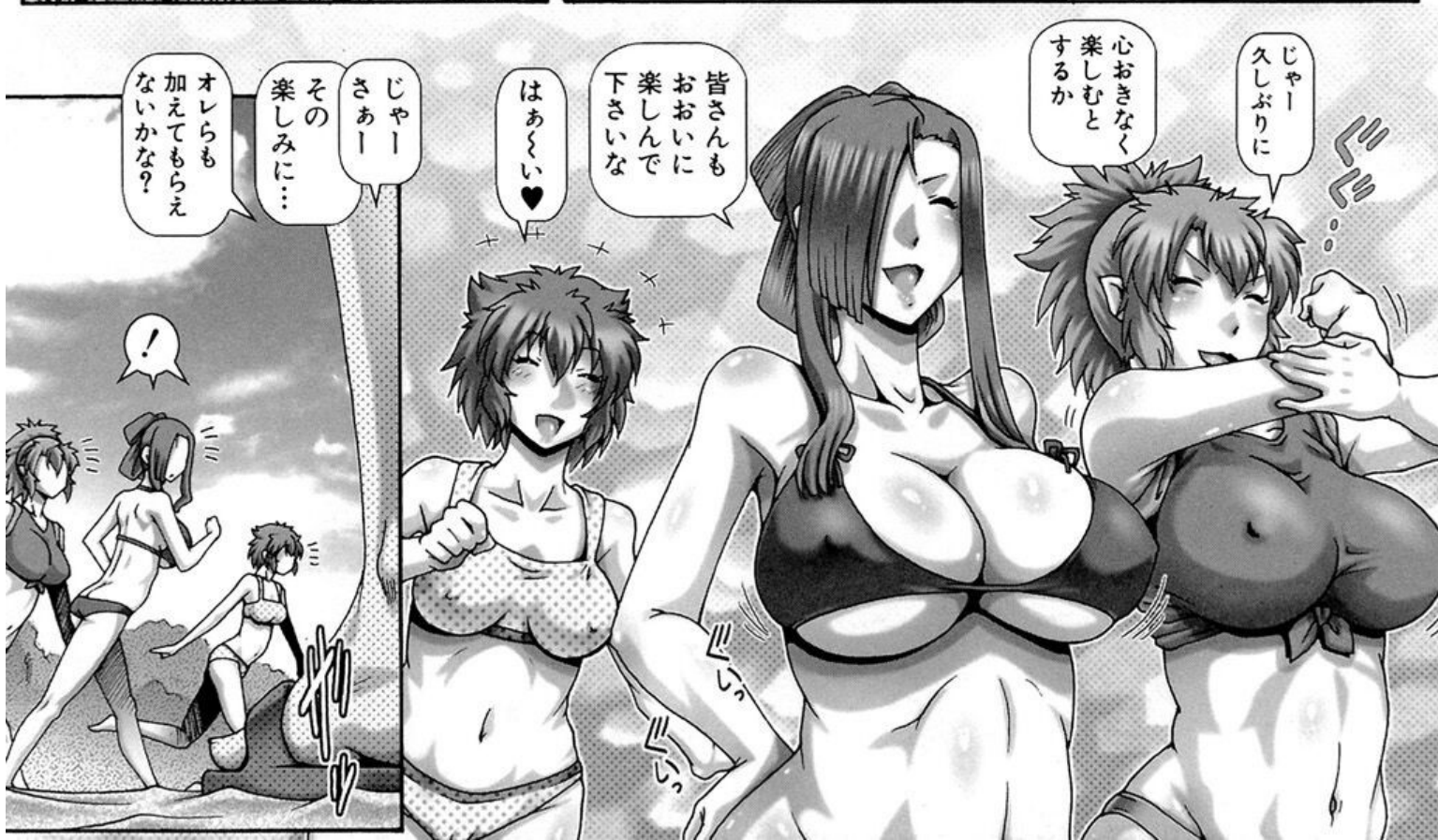
よくぞ
良い案を
出してくれ
ました

礼を言い
ますね

でかした
なっ

お褒めに
預かり…

恐縮で
ございます



じゃー
久しぶりに

心おきなく
楽しむと
するか

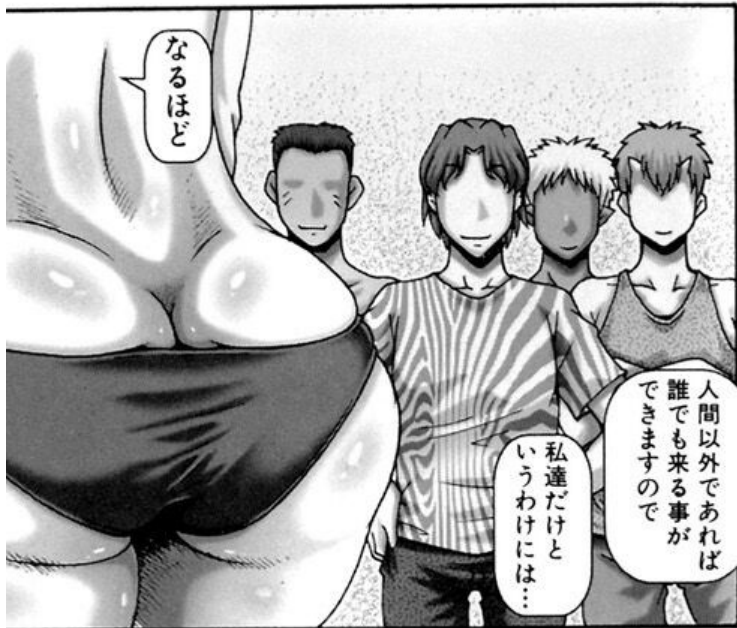
皆さんも
おおいに
楽しんで
下さいな

はあくい♡

じゃー
さあー

その
楽しみに…

オレらも
加えてもらえ
ないかな？







ぱた
ぱた
ぱた

自分で
選んで取れば
いいだろ…

そのクーラー
ボックスに
入ってるから…

青葉あ
〜っ

ジュース
頂戴

ジュース

やあーっ

青葉が出て
くんなきや
やあーっ



はあーっ♡

海って
おもしろーい



ちよつと
休憩♡

喉かわい
ちやった…



炭酸系
フルーツ系?

…ったく…
何が
いいの?

お茶が
いいー

お茶ね
お茶…
つと

!?



これで
すか?

なっ
撫子ちゃん
何してるの?





そして...
そのオイル
をおく



ひやひや...
...と
これくらいで
いいかな...



あつ
あつ
あつ
あつ



まんべん
なく...
塗りたくるう
~~~~~  
あひやあ  
~~~~~  
おに



いろんな
所を...
隅々までえく
丹念に
丹念に...
にっ♡
あきゆう~~~~
ちび

ぬりぬり



はっ

おっとお？
丹念に
塗りすぎて

くっく

別なオイルも
出てきちゃった
よ♡

くっく

んくっ

こっちの方が
オイルより

じゃー

こいつも
混ぜて…

はくっ

はああっ

はっ

はあーっ

あはああ
っ

ぬりぬり
しましう
かねえ♡

奥の方
まで

ぬう〜り
ぬり…と

ぬるぬる感
いいね

い…いや…

い…

ほあ

ほあ



ややああつ

ただめえ

ああばああつ

いっくつ

いっちやうつ

ももう

いっちやう

いっちやう

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

おつとおー

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ

いっくつ





おうっ

任せ
なっ

めいっば
い...

いかして
やるから
なあーっ

にゅはあぁっ♥

こっちで
いく方が...
いいーっ

そおら
そらあ

ごじみお

これで
いく方が
いいだろ?

ううんっ

いいっ

カッポッ

カッポッ

カッポッ

カッポッ

カッポッ

カッポッ

カッポッ

カッポッ

カッポッ

カッポッ





それは
良かった

いけたあ

う...うん...

気持ちよく
いけたかな?

いいっぱい
出てるう

いっぱい
だあ

あ青葉の
子種が...

あ...ああ

くほほ...

くくう...

で出た
よ



でもさー

ご心配には
及びません

出しちゃって
大丈夫かな？

玉が出てくるん
じゃない？

青葉様の靈力にも
順応されて
きますので

2〜3日は
大丈夫だと
思います

なので

お好きなだけ
お励みに
なられても
結構です

そう？

じゃく
そうしよう
か！

！

撫子ちゃん
さあー

なんです
か！

本当に一緒に
楽しまなくて
いいの？

少しでも
そんな気分
にならないの？

しつこい
ですねー

その気は
ないって
言ってる
でしょ

ここに
来る前に…
お出しに
なられて
ますので…

それに…





ひ姫様っ!?

おやすみ

私...その間
お昼寝してる
から



ターマ
ちゃん

撫子ちゃんが
汗かいたって
言うから

何とかして
やろうと
思うんだ



へ?

その間
少し待ってて
もらえる?

すぐ済ます
から

うん
いいよ



い!?

素直に
なんなよお



あつ

そんなに
意地張らず
に



汗

まだ出て
くるよ

うわああ

ちちよっ
いい加減に
しろっ

貴様は
姫様に種を
提供する為に
いるのだぞっ

こんな
事する
為に

でも...
エッチな気分には
なってるんでしょ?





んなあ!?

ま
待って...

わ私
本当に...

分かって
るって...

きゅっ

全部分かって
るか...

らっ

タマちゃん以上に
いかせてあげる
から...

さっ
♡

オレに任せて
くれれば...



きゅっ

きゅっ

んきいっ



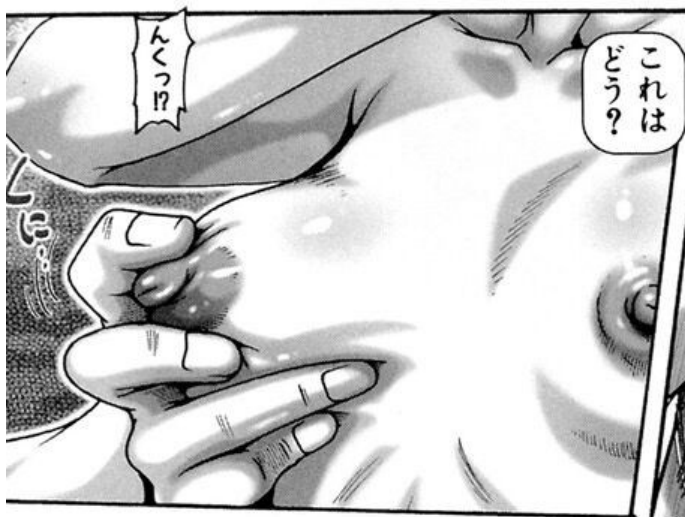
んっ

んふっ

うんん?

こんなんじゃ
気持ちよく
ないのかな?

じゃー



んくっ?

これは
どう?



んっ

どう
どう?

気持ちいい
でしょ?

ねっ?

ねっ?

んくっ

んっ



オレのチ○ポ
キュウキュウに
締め付けてくる
し...

チクビも
ピンピンに
固くなつて
るし...

ふっ

んふっ

いや〜
体は正直
だねー

体の方は
気持ちよく
なってるのが
分かるよ



これだったら
少しは良くな
ったでしょ?

んぐう...

良かったら
ちゃんと表現
しなよ

何をそんなに
我慢してる
かなあ〜?

でも...

んっ

んっ



おお？
可愛い
乳首が…

さらに
コリコリして
きましたよ
♡



これは
あと一息
ではない
だろうかっ

それなら…

く…ん

く…ん



はら
はら

くむう〜っ

むくっ

自分に正直に
なりなってえ〜



ふああく〜!?

もう一つの
お豆を〜

んっ!!

最後の
とっておき…

んくっ?



おおーっ♡
やっぱ…
こっちが正解
っつ♡

きひっ
きひっ
ひんっ

ひっ
ひいっ

いひ…きっ



私っ
そそんな

せっかく
可愛いん
だから…

いっやっ

いやあく

オレを
喜ばせないと
♡

その可愛さを
披露して



いやあっ



そう…

そうだ
よー

良かったら
変に隠さず

自分を偽らず
…正直に
表現しないと

そそこ
だけは
ためえ
っ

ためえ

ひひや



いっつべんに
弄っちゃう
とお~~~~

いいやつ
ま待つて

そんな..
いっつべん



そうなる為に
この穴は開いて
いるんだから

そんな気分
なるのは
当然でしょ

えひんっ♡

いいい...

えひいん♡

あっ♡あひん♡

そうかい
そうかい♡



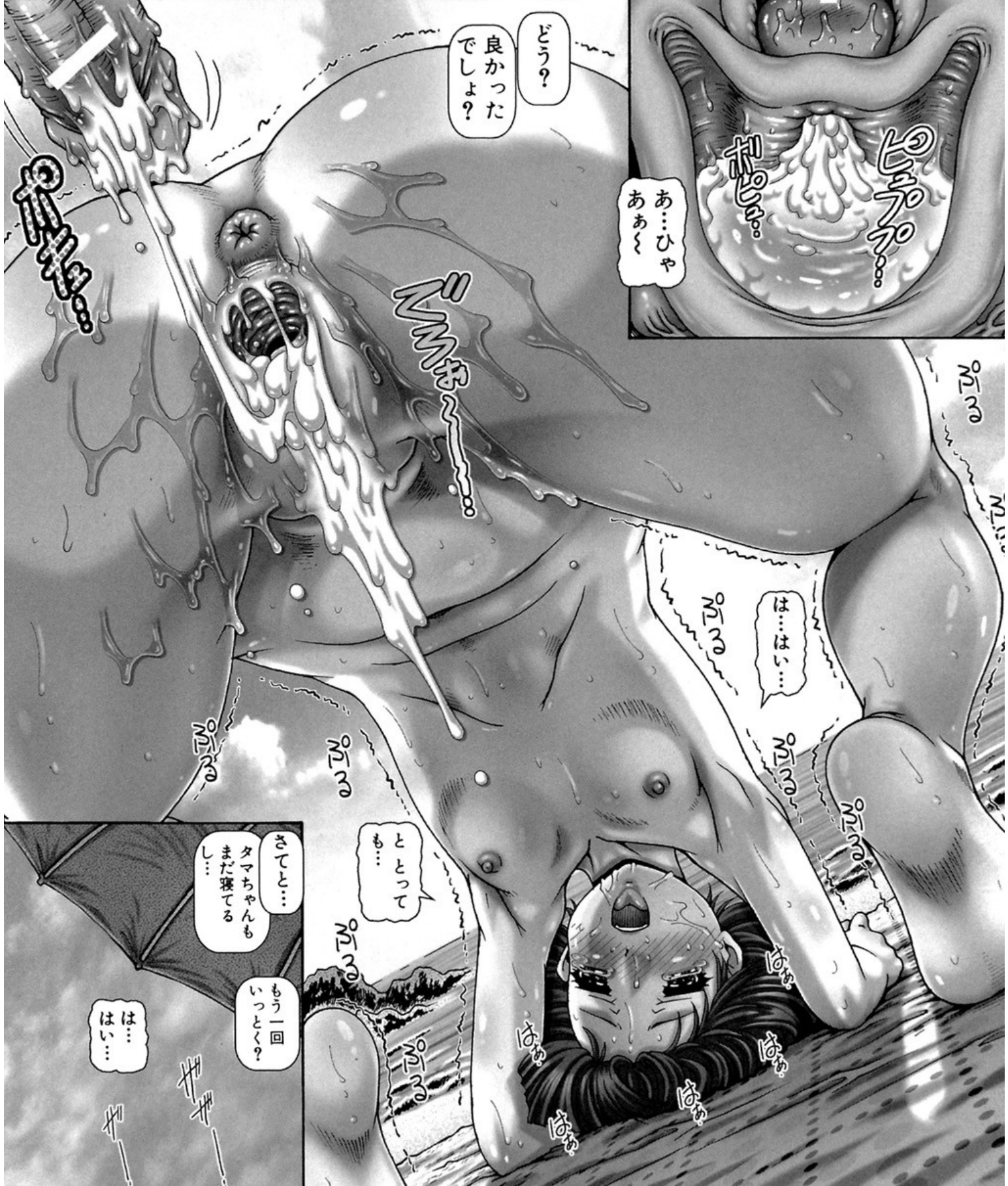
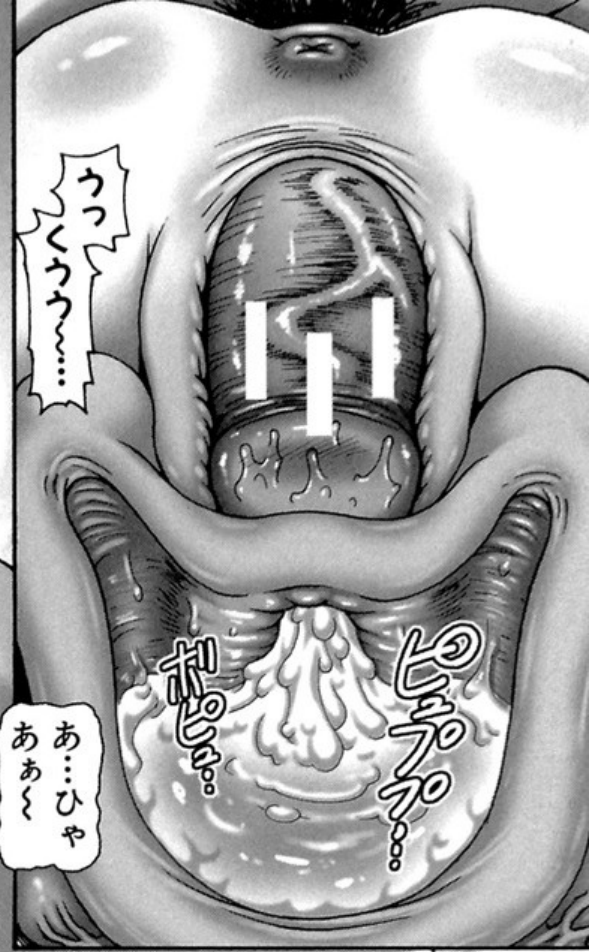
わ私..
わ私..
もう..

エッチな
気分

へんになっ
ちゃうっ♡



あひん♡





第七話



もう——

しらぬく
白菊達は
まだあ〜？

もう少しで
帰ってこれると
思います…

たぶん

もーっ
私達をほっといて
自分達だけ遅くまで
遊んじゃって——っ

こんななら
私達ももう少し
遊んどけば
良かったあー

まあ
まあ

たまには
白菊さん達も
ハメはずしたい
時もあるしさー

いつも
タマちゃんの
お世話で
大変なんだから…

こんな時こそ
感謝の気持ちで
大目に見て
やらないと——

それで
したら…

！
暇つぶしに
お風呂など
どないですう

う~~~~

そりや…
そうだけ
ど…





私青葉と入る

そーだなく

どない
どす？

その間に
ひとつぶろ
いただくか
じゃー



夕食も
もう少しお時間が
かかりますよって

お風呂から
上がられた頃には
お連れさん達も
お戻りになります
やろ



あきまへんっ

お風呂は
一日の垢や疲れを
落す所や...

遊び半分
で入る所や
おまへんっ

おひいさんは
撫子と入って
いただきますっ

ふーっ



殿方の
方は...

あてが
お世話させて
いただきます
すう〜

え？



全てが
新鮮で
楽しく
感じるから

お姉さんの
小言も気に
ならないわ

そう言っ
ただけると
助かります

別に
気にして
ないよ

初めて山里以外の
世界を見たから...
はしゃいじやった



ほな...

ご案内
致しますう

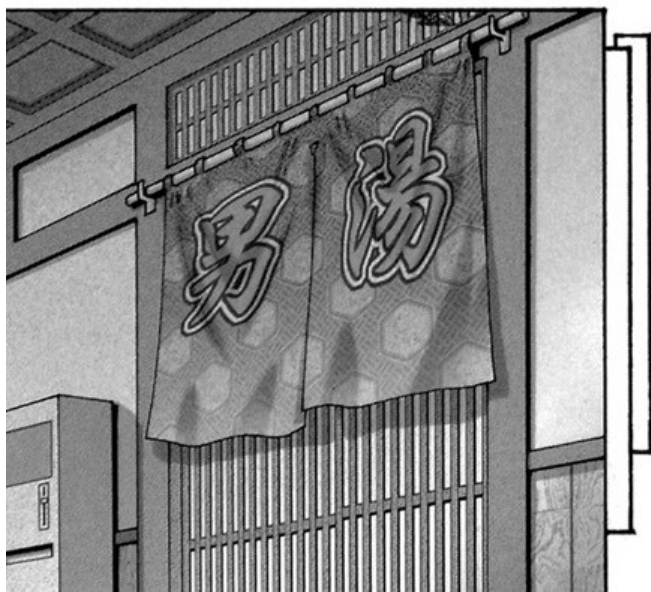


あゝあ

青葉と
入ったかった
なあゝ

すみませ
ん...

頑固な
姉で...





あはん♡

あん♡

あ♡

あ青葉はんの男根…

かゝてぶつといおすなあく

ここれやつたらお姫さんもご満足でつしやろ

そそりやどーも…

セッ

セッ

セッ

セッ



ほなあやめまひよか？

いや…そそいうわけでは…

ここれじやゆつくり出来そうにないんですが…

しかし…お風呂はゆつくり入るもんなんでしょ？



あてはそれを
気持ちよく
出はる為に...

殿方は...
子種を出す事で...
一日の疲れや
苦勞が取れるう
言いますやろ?



ただ...
あての穴で
お手伝い
しとる
だけどうく

なるほ
ど...

な...



これは...あて流の
殿方の癒し方どす

ここに泊まらはる
殿方には
いつもしとる事
どすさかい...

そそう
なんすか...



せやから
あんたはんも
あての中に
たんと出して

お姫さんの
為にも

スツキリ
しとくれ
やす

へ?

それと
もう一つ...

いは
は



あての
お乳も…

お召し上がると
元気になるはり
ますえ

この中には
酸方が元気に
なるはるエキスが

へへえ

たーんと
入っとりま
すかい…



これを
飲みはったら
元氣百倍

あっちの方は
元氣千倍や

せやから…

たくさんと
飲んでえ

そそない
強く吸わん
でも…

お乳は
逃げまへん
よって…



じ
じやく

今宵
おひいさんと
うぐんと

お励み
よしっ

ゆっくり
おあがり
よし…





おっ
おっ

ふおおおっ

ああ~~~~♡

ふ..
深あ~~~~



突きまく
つてえ~~~~

突いて
突いて



そその
調子やあ
~~~~

そそや...

そその調子で  
お姫さんも  
突くのや



んはぁ♡

だっ  
出すの  
やあ〜♡

こ子種を  
ぎょうさん…

ぬぐう…

あああ…

ああ…

あ…はあ

ふ不覚  
や…

い今ので  
いってもうた…

ぎぎょうさん  
出すさかい…





せやけ  
ど...  
こんだけ  
出せれば  
上等や...



撫子様が  
姫様をつ

!?



山茶花様つ

大変  
ですつ

頼みま  
すえ...

お姫さんに  
ぎょうさん...  
玉を産ませる  
のや...



この調子で  
お姫さんにも  
たんと出して

あんなさんは  
小さい頃より  
どんくそうて  
気弱で

何も一人で  
できへんと思  
うとりました  
たけんど...

き...  
気なんて  
ふれてない  
わ

姉様

お姫さんを  
逃がそうや  
なんて...

気でも  
ふれたかえ  
撫子

き...  
気なん  
て...

わ私はいたって  
まっとうよ...

はほく  
まっとう  
!?

妖玉を  
一人占め  
する事こそ...  
正気のさたじや  
ないわ

妖玉が私達  
妖怪にとって  
どれだけ大切な  
物か...

それは姉様も  
十分知ってる  
はずよ

なのに...

撫子の分際で  
あえて説教  
かえ?

随分  
えろうなつた  
もんやわ







この事は  
さんざん話して  
納得したや  
ないかつ

けっして  
一人占める為や  
おまへんっ

それを  
今になって

人間に奪われた  
土地を  
取り戻す為に  
使うんや

言うとき  
ますがな  
一人占めや  
おまへん

力のある者に  
さらに力をつけ  
させ...



まましてや  
大恩ある姫様を  
犠牲にする  
やり方...

もう...  
これ以上は...

ただでさえ  
姫様は  
私達の為に  
身をささげて  
くれています...



た確かに  
一度は納得  
しました...

でも...  
やはりこんな  
同胞を犠牲にする  
やり方...

納得  
できません

同胞を犠牲や  
なんて...

心外や



もっと良い  
方法がきっと  
ありますっ

もう少し  
考えてから...

姉妹でここまで  
考え方が違う  
とは...

残念  
やわ...

こう...  
ならはっ  
たら...



落とし前は  
きつちり:  
させてもらい  
ますう

へへへ...

もうあんさんは  
あてらの仲間や  
おまへん

せやから:

へへ...



ひっ

山茶花様の  
ご命令だ:

裏切り者に  
ふさわしい



ま待って  
いいや:

まったく:  
バカな奴だ  
よなあ



んきゅっ

お仕置きを  
してやるぜっ

へんな気を  
起こさなければ  
こんな目にあわずに  
済んだのによ





そんなに  
いいなら...

あっ

あくっ

あっ

いやっ

やめ...

あっ

さすが  
山菜花様の  
妹だわっ

キツキツで  
いい穴して  
るぜ

んっ

くっくっ

すげえー  
気持ちいい  
ぜ

オレも  
いただき  
まあーす

ぎはあああ

おおっ  
ほんとだっ

キツキツ  
ハンパねえ

が...

がは...

はがが...



それも  
そうだな

じゃー

ん…



はへ？

全ての穴を  
ぶっ壊す  
つもりで  
やるか

そのつもり  
よっ♡



なっ!?

な…何？

な何…  
…なの？



おいおい  
ちよっとムリ  
しすぎじゃ  
ねーか

早めに  
壊れちまったら  
面白くねえ  
だろう

か…  
んか…

わりい  
わりい

でもよ

はか…



山茶花様から  
好きにして  
いいって  
言われてるから…

やりたい事  
やらないと…  
損じゃねえ？

お仕置き  
の意味も含めて  
よ…

















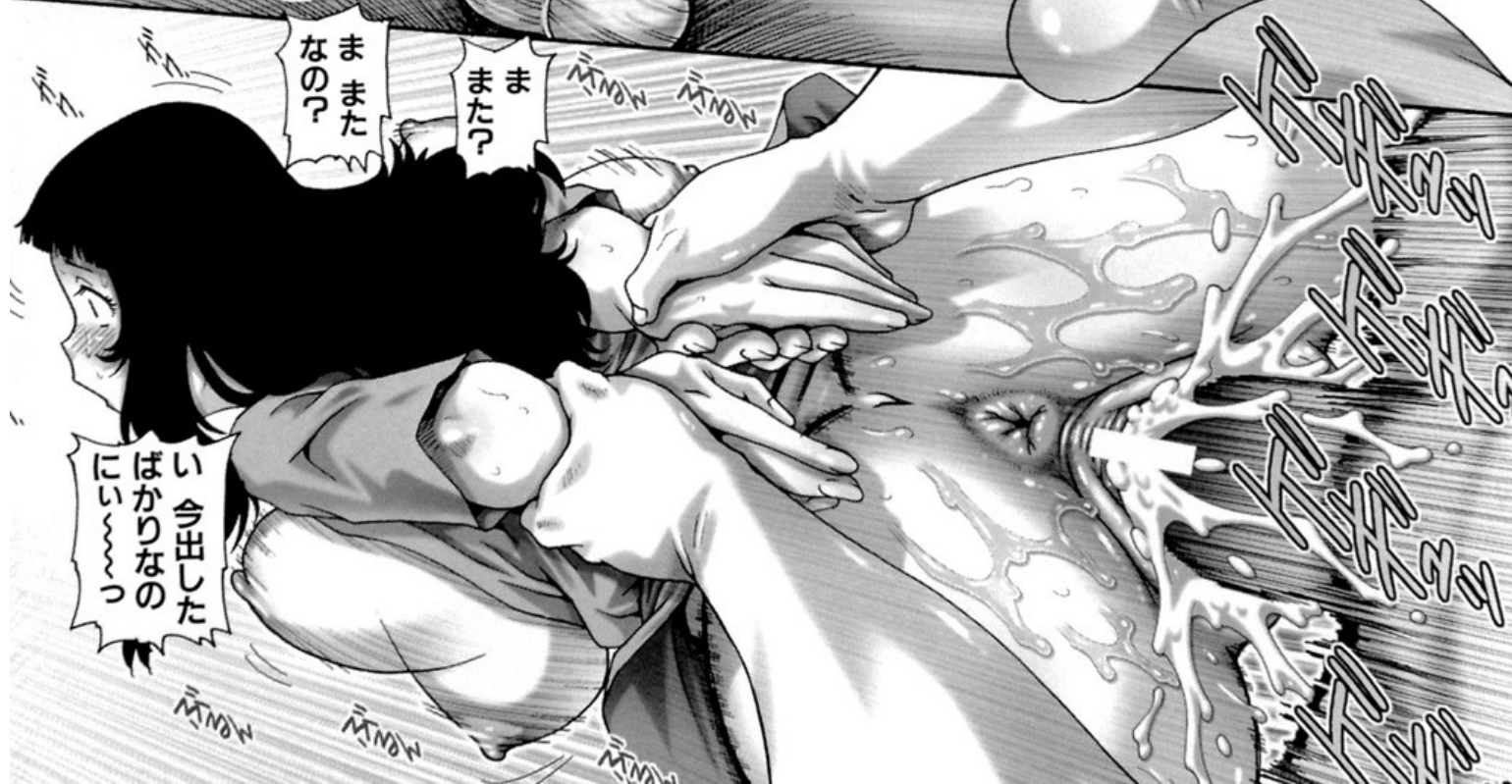


ひゃー

ぬはああっ

ち  
ち  
ちゅっ

あ  
青葉  
?



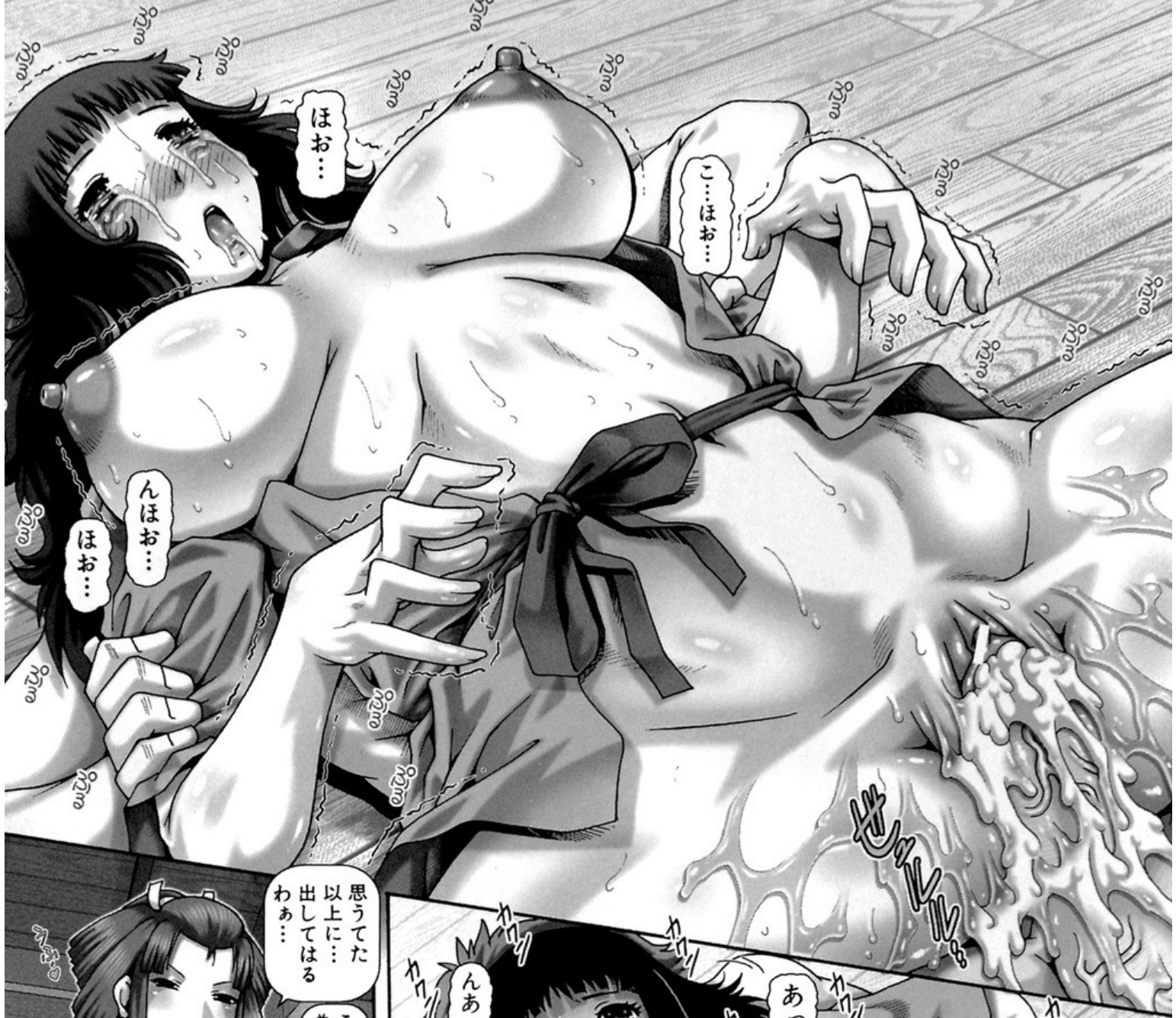
また  
また  
なの?

ま  
また?

い  
今出した  
ばかりなの  
に~~~~







ほお...

こ...ほお...

んほお...

ほお...

せーん



思うてた  
以上に...  
出してはる  
わあ...

このあての  
為に...



んあつ

あつ

あふつ

あつ

あくあ

あつ

いやー  
よろしおす  
なあ〜





さあーて

もう少し  
気合い入れて  
お仕置きする  
かな

おい  
縄ほどいて  
下ろそうぜ

え?  
いいのか?



山茶花様  
ご機嫌だなあ

そりゃ

念願  
叶ったん  
だから  
なあ



これで..  
なあ

ギョリッ!

オレらも  
いい目に  
あずかる  
つもんだ



逃げたり  
しないか?

もうそんな  
気力残って  
ねーよ

大丈夫:

夫!?

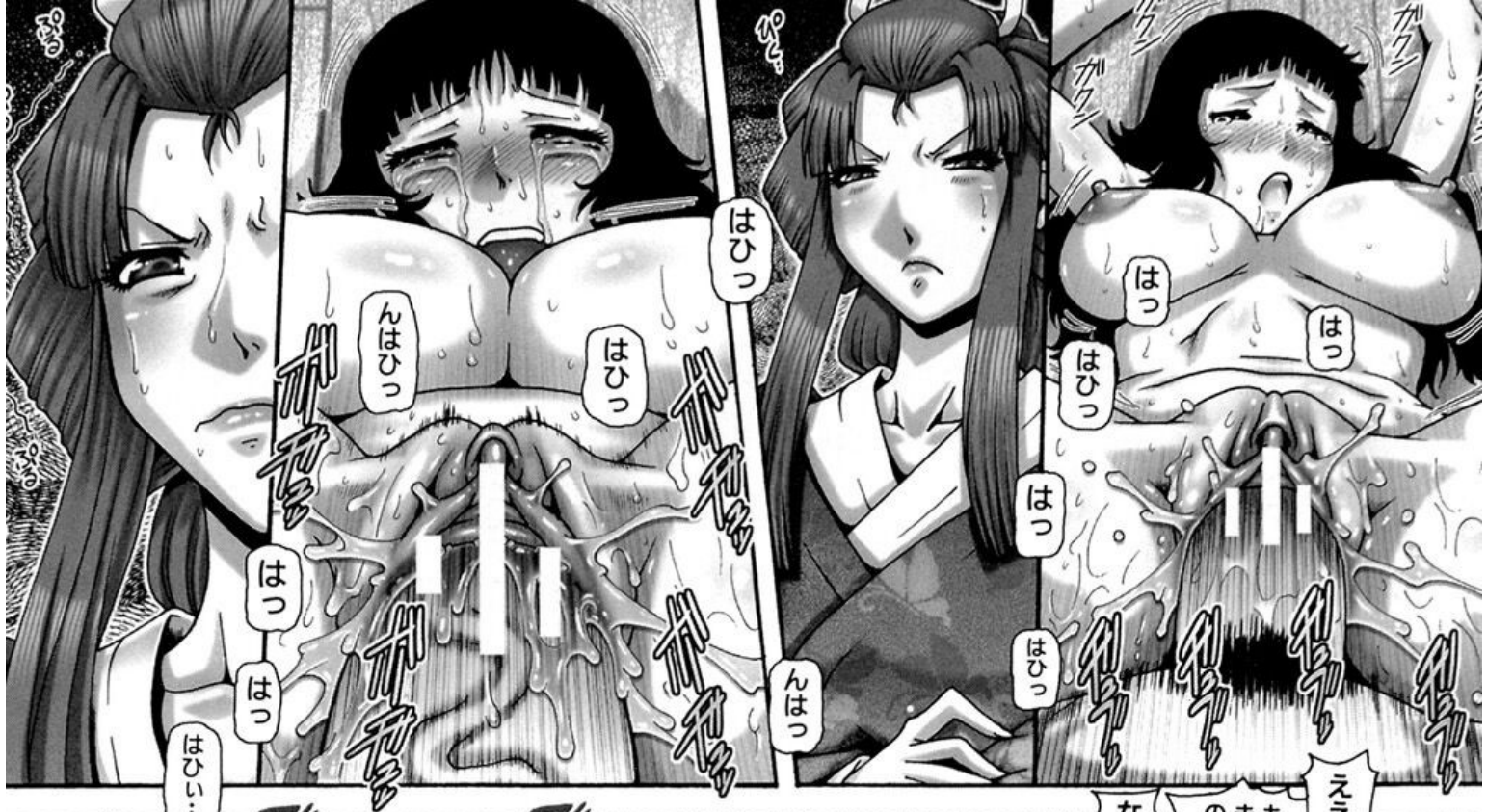


好きに  
させたら  
ええー



## 第八話









あさ あさ あさ  
珠姫さまの  
事は  
撫子さまが  
お詳しいと  
思われます

あの方に  
聞かれません  
と...

こないな時  
にく

どこまで  
あてらを  
困らすのや...

あの娘  
は...



だったら  
あの娘を探して  
連れてくるのや

今すぐっ

しかし...  
今からでは  
見つける事が  
できるか  
どうか...

それでも  
やるんや

あの娘が  
おらんと  
話にも  
ならんやろ



これほな  
いつまで  
たっても...

あてらの目的を  
はたす事が  
出来しまへん

四の五の  
言うたらん  
と...



はよおー  
撫子を...

なんや  
えろく  
おこまり  
でんなあ







ここに  
転がっている



覚悟は……  
もちろん  
出てんで  
しょうね……  
あんた  
達

むっ!!



おだまり  
よしっ

あんたに  
とやかく  
言われる  
筋合いは  
おまへんっ

覚悟すんのは  
あんたの方や



こっちには  
大勢の手下が  
おるんや

あんさん一人っ  
ギッタギタの  
ボッコボコに……



やれる物  
なら……  
やってみろ

大勢の  
手下とやらで……







待って  
きいっ

首を  
洗って

その時  
まで...

どどど...

な...  
な...

ぎょへ?

なんや  
これはあーっ

私が何の策も  
なく来ると  
思う...

その子らの糸は  
ちよつとや  
そつとじゃ  
切れないわよ

姉さま...

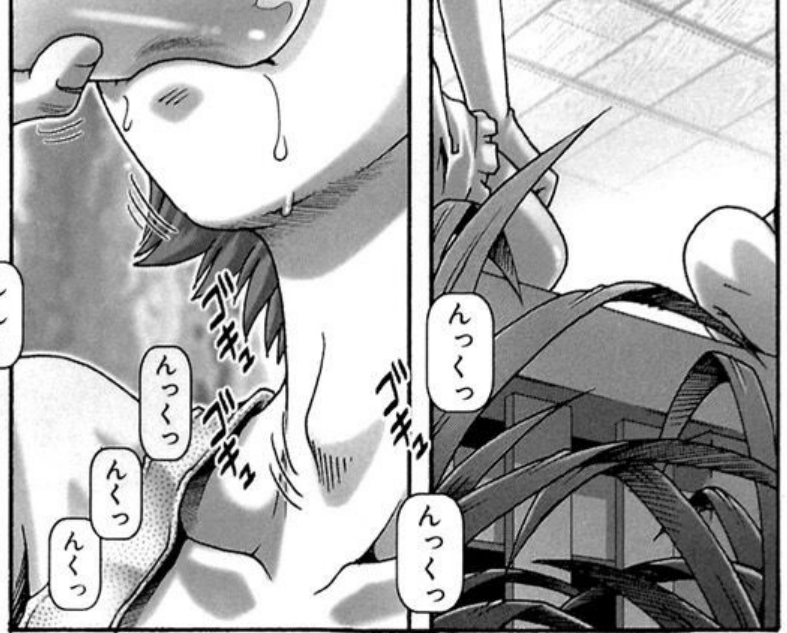






んん…

ぶっはあ  
~~~~~  
っ



んっくっ

んっくっ

んっくっ

んっくっ

んっくっ

んっくっ



それは
何より

まだ少し
フラフラ
しますが…

もう大丈夫
です



あとは
姫さま
だけ…

なんだ
けど…



どう？

このお酒…
解毒作用も
あるから…

あの女の毒も
なくなったで
しょ？

えええ…

だいぶ楽に
なりました



このお酒では
どうにも
ならないわ…

すっかり
正気を
失い…

以前の姫さまに
戻られた様
だわ…







私の方は…
いつでもいい
ぞ…

ムキッ



もう…

妖玉を出す
時間か？

え？

え？
ちよっと
タマちゃん
？



さあ…

早く
入れろ？

そして

だから
好きなだけ
子種を
入れるが
よい…



沢山
出して…

う…
う…
う…



好きなだけ
妖玉を出して
やる…















あつ

ああつ

あつ

あ…い

いーっ♡

いーっ♡

やつぱり
青葉の
チ○ホいい
よーっ

いすきい♡

タタマちゃんの
マ○コも…
いーっ♡

ああつ♡

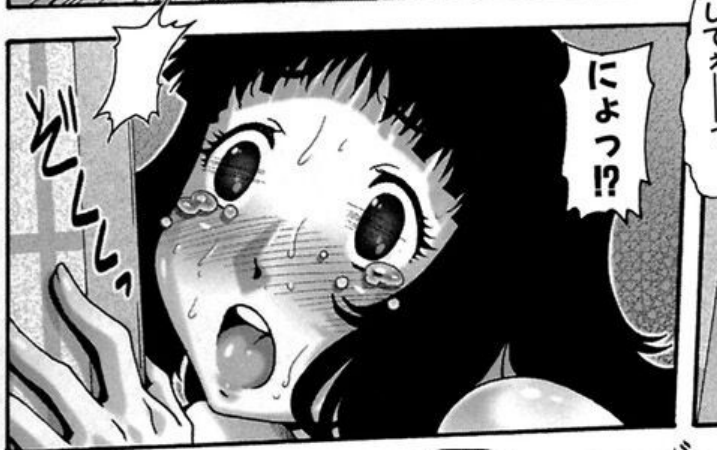
ああつ♡

いーっ♡

いーっ♡
チ○ホ
いーっ♡

青葉の
チ○ホ…

いーっ♡





わ!!

いひっ

ウンチの穴も
いひっ

脳天まで
しびれるーっ

ああら
ああら

くひいん♡



あはあ
あはあ
あはあ

あはあ
あはあ
あはあ

あはあ
あはあ

あはあ
あはあ

あはあ
あはあ

あはあ
あはあ

あはあ
あはあ

あはあ
あはあ

もっとな
もっとな
もっとな

もっとな
もっとな

もっとな
もっとな

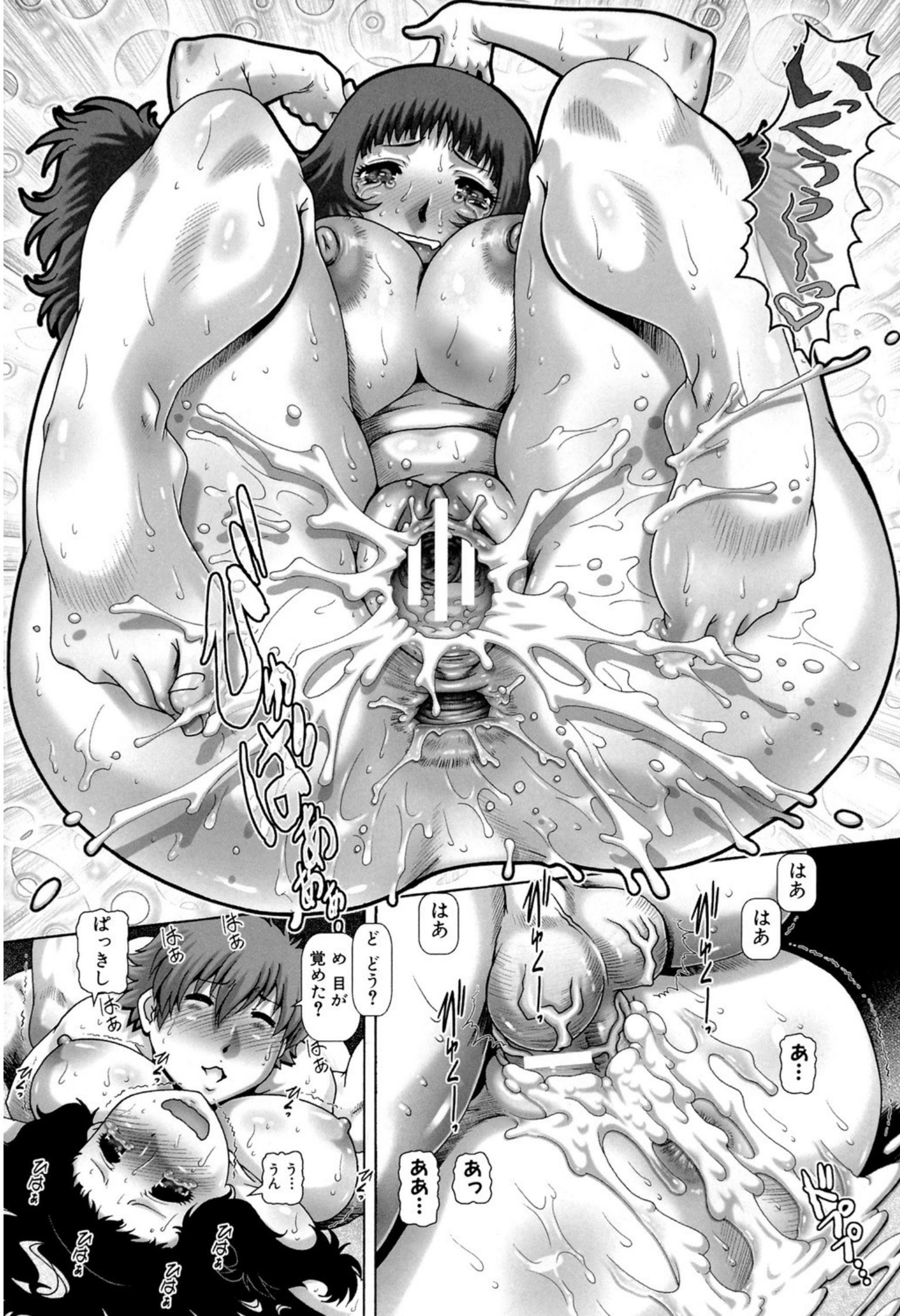
もっとな
もっとな

もっとな
もっとな

もっとな
もっとな

もっとな
もっとな

もっとな
もっとな





いっ

良かった…

ほんと…
良かった

どうやら…
うまくいった
ようね



いっとく
?

うん♡

目覚めの
一発

やはり…
青葉さんに
任せて
良かったわ…



彼には霊力が
強い以外に…
何か特別な物を
持っているようね

だから珠も
人間らしさに
目覚めたのかも
しれない…

でも…

そんな彼も
珠と一緒に
いられるのは
この夏だけ

でしたら

夏以降も
このまま続けて
もらえるように…

それは
出来ないわ

そろそろ…
妖玉に頼らず
生きていく方法
を…

考えないと
いけない時期なの
かもしれない
わね…

私達…



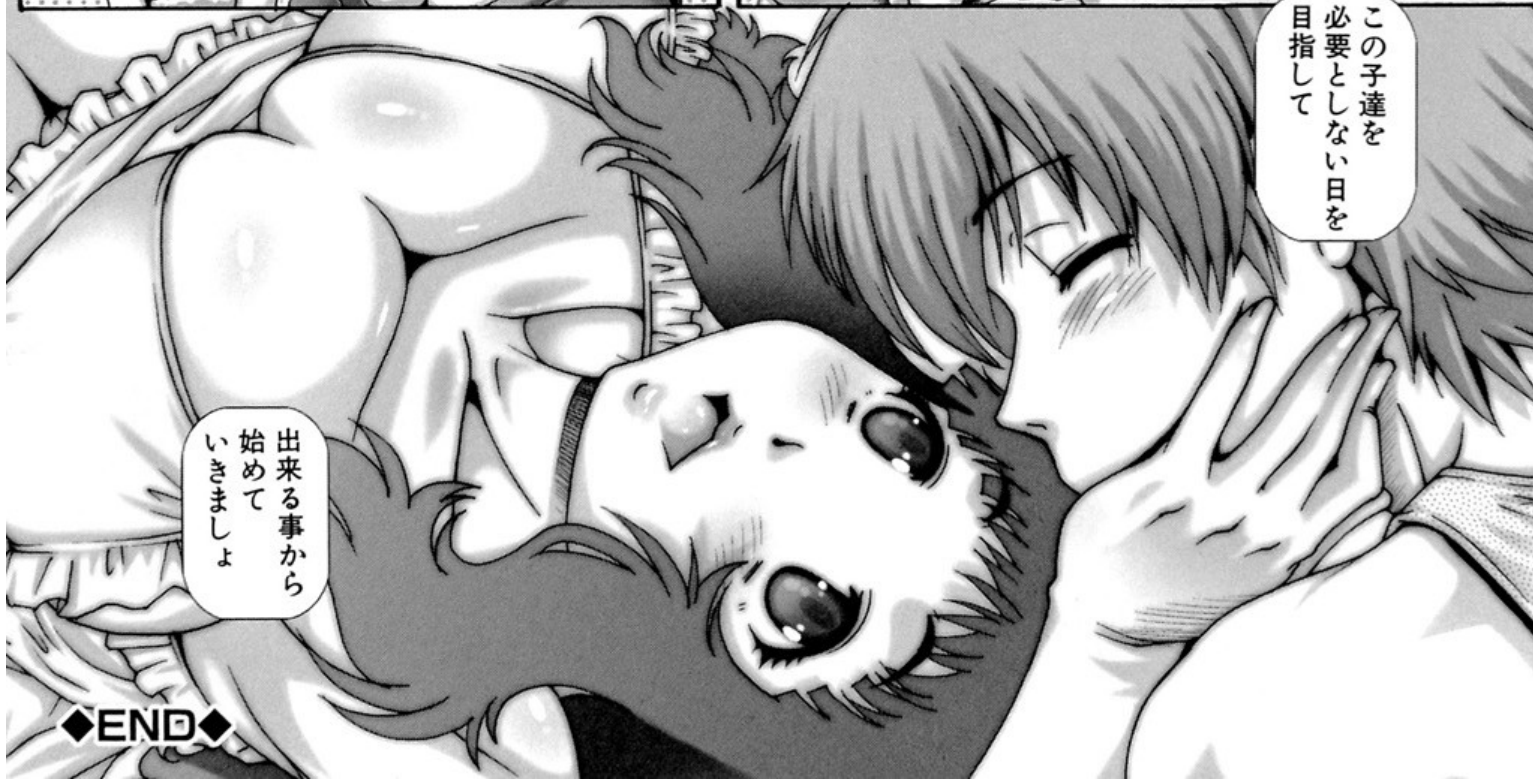
彼には彼で
人間界の
生活が
あるから…

夏が過ぎると
人間の世界に
帰ってしまう…

そういう
約束だった
から…

あ…





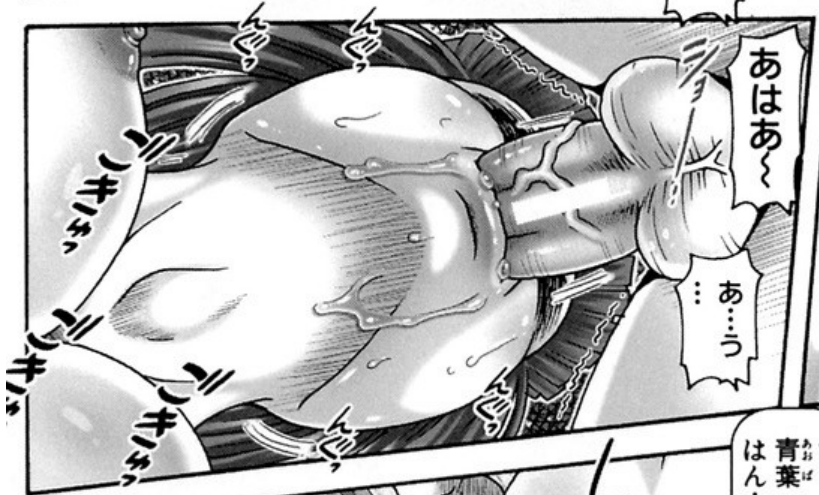


あつ...
あ...
ちちよっ



ままだ
小便の
途中...
くふあ

んふっ♡



あはあ...
あ...う



青葉
はん...

今度は
白く粘っこい
お小水を...

うちの
不浄の穴に...
出しておくれ
やす



うっ...
うふお



ふうっ

おひよっ





え…ええ…

ええわあ

おおおん

ええええ

よよろ…

よろし…
おすっ

ふ不浄の穴
ええどず

ももそ
つと…

ももつと
うちの体…

ええ気分
に…して…

しておくれ
やすうっ

もちろん
言われなく
ても

めめつさ
えええ

めめつさ…
きはる
わあ

めめつ
さあ

おひい♡



ももう…
ももう…
あか…ん

あつ
あんつ
あんつ

あかん…
て…
あが…
あが…

あが…



な撫子
…ちゃん?

いっ…いっただ
っ



おおっ
おおっ
おおっ

おおっ

ぐわーん

あつ
ああくんっ



き急に
穴が小さく…
ん?

あ…



十分可愛がつて
あげるのに♡

オレは
ありのままの
撫子ちゃん
だっ…

化けなく
たつて…

たただ
興味があ
つて…

だから…

そろそろ
抜いて欲しいん
ですけど…

何で
化けて…
こんな事を

ああ
っ

◆END◆

あとがきです。

この度は「妖館の珠姫」を読んでいただき、誠に有難うございました。
さて…もうお気付きとは思いますが、「コミックミルフ」
での掲載時から作品タイトルが変わりました。
何故変わったのか…それは…大人の事情です。
まあ…そんな訳で、軽く流してください。

今回は人外をテーマに話を考えたんですが…
あまり人外っぽく無い話になって
しまいましたね…
いや…ちょっと奇を衒い過ぎて、自分の中での
キャラが纏まりを欠いた感じになってしまいました…
…やっぱ…
慣れない事をするもんてはないですね～

ですが、ヒロインの珠は、描いて
結構楽しかったですね。
容姿は大人なんだけど
中身が子供と言うキャラは、
前から描きたいと思っていましたから、
この機に描いて見ました。
如何だったでしょうか？
殆ど個人的趣味丸出しのキャラなので、
読んでる方によっては好みが分かれると
と思いますが…自分は好きです。
もし自分にこんな娘がいたら、
絶対他の男にチンポ突っ込ませる
様な事はさせません。
ええ～ッさせませんともお～

…と、まあ～キモい妄想は置いて…
今回この作品を最後まで読んでいただき、
誠に有難うございました。
次回も自分の妄想満載で描いて行こうと
決意しておりますので、
これからも今まで同様の声援、
よろしくお願い致します。



あやかしかた たま ひめ
妖館の珠姫

2013年12月20日初版発行

2014年 1月10日 2版発行

著 者——TYPE.90

発行人——高橋広治

発 行——ティーアイネット

〒141-0022

東京都品川区東五反田4-6-7

藤和高輪台コープ404

営 業——03(5789)0571

F A X——03(5789)0576

◆本誌に掲載されている作品は全てフィクションです。実在の人物・団体・事件などはいっさい関係がありません。

◆購入者以外の第三者による本書のいかなる電子複製も一切認められておりません。

◆本書の無断転載、複製、上演、放送を禁じます。

◆乱丁・落丁本はおとりかえいたします。

©TYPE.90／ティーアイネット

ISBN978-4-88774-502-5

本来、医王は
直接食す物では
ありませんが...

いえーいじゃ
ないわよ

食わん
ヤマトオホは夜田が
ヨメをムンデ...

イエス
レベルアップ

困るはあ
肩がコワコワ

それなりだった者は
立派になり...

将来垂れろ...

元々立派な者は
更に力つく事...

…アハハハハハ

私を食すなほ
ふなへておくれ
何らかなはなな…

こっきゅいっ



何らかな…
またな…



キッ

これだけ…



見た目がまじしても
中身がかわらないと
意味無いわ…

書下ろしに
続く…

…アハハハハハ
ふなへておくれ
何らかなはなな…

